

# 医史学関係文献目録 (五十音順)

平成 12 (2000) 年

順天堂大学医史学研究室編

- |                      |           |                |                 |
|----------------------|-----------|----------------|-----------------|
| 01 単行本               | 19 細菌学史   | 38 地方史         | 52 法医学史         |
| 02 医学切手・書画           | 20 産婦人科史  | 39 治療史         | 53 放射線医学史       |
| 03 医学教育              | 21 歯学史    | 40 伝記          | 54 本草学史・博物学史    |
| 04 医学用語              | 22 史跡・記念碑 | 41 伝記(双)       | 55 麻醉学史         |
| 05 医師会・学会            | 23 疾病史    | 42 伝染病・防疫史     | 56 門人録          |
| 06 医史学一般             | 24 耳鼻咽喉科史 | 43 東洋医学史・伝統医学史 | 57 薬学史          |
| 07 医の倫理              | 25 種痘史    | 44 内科史         | 58 蘭学史          |
| 08 医療器械              | 26 獣医学史   | 45 皮膚科史        | 59 リハビリテーション関係史 |
| 09 医療制度史・医療史         | 27 書簡     | 46 泌尿器科史       | 60 検査           |
| 10 衛生・公衆衛生<br>・予防医学史 | 28 書誌学    | 47 病院史         | 61 その他          |
| 11 解剖学史              | 29 小児科史   | 48 病跡学         | 62 中国語文献        |
| 12 眼科史               | 30 神経学史   | 49 病理学史        | 63 韓国語文献        |
| 13 看護史               | 31 診断学史   | 50 風俗史         | 64 欧文文献         |
| 14 寄生虫学史             | 32 整形外科史  | 51 仏教医学史       |                 |
| 15 教室・大学史            | 33 精神医学史  |                |                 |
| 16 軍陣医学史             | 34 生物学史   |                |                 |
| 17 形成外科学史            | 35 西洋医学史  |                |                 |
| 18 外科史               | 36 生化学史   |                |                 |
|                      | 37 生理学史   |                |                 |

今回は 34、46、50、52、63 にあたる文献はありません。

## 01 単行本

『Acta Medico-Historica Rigensia Volumen V (XXIV)』

Pauli Stradini Museum Historiae medicinae

『終末の刻を支える 文学にみる日本人の死生観』三輪書店

『日本東洋医学会 50 年史』日本東洋医学会

浅野弘毅『精神医療の論争史』批評社

家本誠一『素問訳注 第二冊』玄同社

石渡隆司『医学哲学はなぜ必要なのか』時空出版

大阪府医師会『大阪府医師会 50 年史』出版文化社  
岡田靖雄『精神病医 斎藤茂吉の生涯』思文閣出版  
柏木博・小林忠雄・鈴木一義(編)『日本人の暮らし 20 世紀  
生活博物館』講談社  
片桐一男『江戸のオランダ人 カピタンの江戸参府』中央公  
論新社  
金沢市総務課市史編さん事務局『市史 かなざわ』金沢市  
北原龍二(編)城本るみ・杉山章子・林千冬・松山圭子『看  
護学生のための社会学』医学書院  
呉市医師会史編纂委員会『呉市医師会史(III)』呉市医師会  
圭介文書研究会『伊藤圭介日記第六集 錦窠翁日記(明治六  
年七月~十二月)』名古屋市東山植物園  
黄煌・柴崎瑛子(訳)『中医伝統流派の系譜』東洋学術出版社  
小関恒雄『明治法医学史点描』玄同社  
財団法人日蘭学会設立満 25 周年記念「日蘭学会」学術叢書第  
20『日蘭交流 400 年の歴史と展望』日蘭学会  
酒井シツ『医学史への誘い 医療の原点から現代まで』診療  
新社  
榊原正義・河田一郎・川嶋正幸『対訳読本 ドイツ近代看護  
の黎明—フリートナー夫妻の生涯—』時空出版  
佐藤和彦(監修)『楽しく調べる人物図解日本の歴史 7 知っ  
てほしい近代日本の歩みに活躍した人びと 明治・大  
正・昭和・平成時代』あかね書房  
末中哲夫(監修)・宮島一彦・鹿毛敏夫『麻田剛立』大分県教

育委員会・大分県先哲叢書  
杉浦守邦『カルテ拝見 武将の死因』東山書房  
鷺見博和『東に灯はともる—根室病院の百年』鷺見博和  
日本医史学会神奈川地方会『神奈川県北西・湘南地方の医史  
跡めぐり』  
日本外科学会『日本外科学会 100 年誌』ぎょうせい  
福岡市『ふくおか歴史散歩 第六巻』福岡市  
フローリー・ディビッド、ラッド・ヴァサント、上馬場和夫  
(監訳、編著)『アーユルヴェーダのハーブ医学』出帆新社  
K. ファン・ベンケル、塚原東吾(訳)『オランダ科学史』朝  
倉書店  
榎佐知子『医心方 卷十一 痢病篇』筑摩書房  
松木明知(編)『ノーベル医学・生理学賞に見る現代西洋医学  
の系譜—医学部分館展示室完成記念特別展図録—』岩波ブ  
ックサービスセンター  
宮城県医師会『宮城県医師会史(続編)』創文印刷出版  
森納『鳥取県の疾病史覚書—明治・大正時代—』  
森川政一『昭和前期上越医界史』  
山口拓史『これまでの大学院・これからの大学院』名古屋大  
学史資料室  
山崎光夫『日本の名薬』東洋経済新報社  
李濟馬『四象醫學原論 下巻』ライフリサーチプレス

## 02 医学切手・書画

「ノーベル生理・医学賞の光と影 (3)」安室芳樹『STETHOSCOPE』(160)2-8

「絵ハガキで見るパリの古い病院 (7)、(8)」今泉孝『医譚』(75,76) 66-64,78-76

「宇田川榕菴張込帖所載のカラフト図について」大野延胤『一滴』(8)1-23

「華岡青洲とマンダラゲの切手」大村敏郎『STETHOSCOPE』(161)2-3

「病草紙にみられる疾患とその今日的意味」荻野篤彦『病院図書館』20(1-2)23-27

「赤十字物語 (3-5)」小野公義『STETHOSCOPE』(160-162) 12-17,12-17,10-15

「切手で医学散歩 <97> - <144>」金山知新『Medical Tribune』33(1-52)

「ティラデントス」金山知新『STETHOSCOPE』(161)7-12

「切手が語る医学 (No. 1) 【地雷】全世界に今年も地雷の犠牲者が絶えません!!」古庄弘典『鹿児島市医報』39(5)55

「切手が語る医学 (No. 2) 【歯科学】歯科をテーマとした切手」古庄弘典『鹿児島市医報』39(6)44

「医学絵葉書の収集とその魅力」寺畑喜朔『いずみ』47(5)18-19

「切手でみる外科の歴史」蓮見昭武『第100回日本外科学会総会規格特別展示』3-33

「異病草紙について」林美朗『精神神経学雑誌』102(4)413-414

「ネパールへの眼科協力 付・ネパールの医学関連切手リスト」山之内卯一『STETHOSCOPE』(161)4-7

## 03 医学教育

「オーストラリア医学教育の歴史的建造物 Anderson Stuart Building について (抄)」石橋肇『日本歯科医史学会々誌』23(4)266-267

「辛亥革命と金沢医学専門学校中国人留学生」泉彪之助『北陸医史』21(1)66-78

「歴史の足跡 北海道の医学教育 医専の官制と定員、修行年限」小竹英夫『北海道医報』(949)34-35

「歴史の足跡 北海道の医学教育 樺太庁立医学講習所の設立」小竹英夫『北海道医報』(951)38-39

「歴史の足跡 北海道の医学教育 厩大な兵力と新設医育機関と樺太医専」小竹英夫『北海道医報』(952)26-27

「歴史の足跡 北海道の医学教育 医学講習所から庁立、更に官立医専へ」小竹英夫『北海道医報』(953)26-27

「歴史の足跡 北海道の医学教育 樺太医専への有馬校長の尽瘁」小竹英夫『北海道医報』(954)46-47

「歴史の足跡 北海道の医学教育 敗戦による医学教育の有為転変」小竹英夫『北海道医報』(955)40-41

「歴史の足跡 北海道の医学教育 学年1ヶ年延長は果たし

- て効果があったのか」小竹英夫『北海道医報』(956)30-31
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 敗戦時の医学校と歯科医師への転用」小竹英夫『北海道医報』(957)40-41
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 台湾・朝鮮及び旧満州国からの引揚医師の特例」小竹英夫『北海道医報』(958)34-35
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 引揚医師の特例(続) 敗戦後の樺太医専」小竹英夫『北海道医報』(959)48-49
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 戦後の樺太医専 医専存続の運動」小竹英夫『北海道医報』(960)32-33
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 医専存続の運動(続)」小竹英夫『北海道医報』(961)32-33
- 「歴史の足跡 北海道の医学教育 旭川医専(医大)の挫折はなぜだろう 北大医専・樺太医専の教官」小竹英夫『北海道医報』(962)36-37
- 「医学・医化学の発展と教育(特にその制度史)(抄)」柴田幸雄、工藤幸子、田中伸『日本医史学雑誌』46(3)408-409
- 「20世紀の医学図書館をふりかえって 日本の医学教育」長門谷洋治『医学図書館』47(4)380-388
- 「21世紀へむけての健康教育 健康教育の変遷・現状・今後の課題」宮坂忠夫『保健の科学』42(7)508-513
- 「ポンペ先生の医学教育に寄せて」森本岩太郎『日本赤十字看護大学紀要』(14)83-91

#### 04 医学用語

- 「【レニン・アンジ・オテンシン系の最近の進歩】 レニン・アンジオテンシン系の歴史」日和田邦男『ホルモンと臨床』48(2)97-101

#### 05 医師会・学会

- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本認知療法研究会」井上和臣『最新精神医学』5(5)499-505
- 「15年戦争と日本衛生学会」西山勝夫『日本衛生学雑誌』55(1)350
- 「戦前の医学・医療界の戦争責任を考える 日本産業衛生学会及び日本衛生学会の日本の侵略戦争へのかかわり」西山勝夫『医学評論』(102)1-5
- 「演題からみた北海道の心身医学 日本心身医学会北海道支部の25年」久村正也『北海道医報』(949)14-16
- 「精神医学関連学会 歴史と最近の動向 日本家族研究・家族療法学会の歩み」牧原浩『最新精神医学』5(1)89-95
- 「北陸における日本薬学会発足小史」山本郁男『北陸医史』21(1)48-56

#### 06 医史学一般

- 「民間団体による国際的な対ガン運動と日本」青木國雄『福岡県対ガン協会創立40周年記念誌』11-31
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 4 ペニシリンの

- 「発見—抗生物質の始まり—」青木允夫『日医ニュース』(923)4
- 「医のことば その113」荒井保男『新薬と治療』50(4)37-39
- 「医学史ミニ博物館164 茂木藏之助教授のこと」大村敏郎『医学のあゆみ』192(4)308
- 「医学史ミニ博物館165 パドヴァ大学の師弟関係」大村敏郎『医学のあゆみ』192(9)908
- 「医学史ミニ博物館166 蘭学に貢献した二人の大槻を名乗る人」大村敏郎『医学のあゆみ』192(13)1240
- 「医学史ミニ博物館167 第100回日本外科学会の記念切手」大村敏郎『医学のあゆみ』193(4)266
- 「医学史ミニ博物館168 第100回日本外科学会から」大村敏郎『医学のあゆみ』193(9)754
- 「医学史ミニ博物館169 ジョセフ・リスターの生涯と消毒法」大村敏郎『医学のあゆみ』193(13)1021
- 「医学史ミニ博物館170 モンペリエの医師たち」大村敏郎『医学のあゆみ』194(4)222
- 「医学史ミニ博物館171 外科と宗教の干渉」大村敏郎『医学のあゆみ』194(9)693
- 「医学史ミニ博物館172 医学との接点」大村敏郎『医学のあゆみ』194(13)1001
- 「医学史ミニ博物館173 オリンピックと肌の色」大村敏郎『医学のあゆみ』195(4)261
- 「医学史ミニ博物館174 節目を考えると」大村敏郎『医学のあゆみ』195(8)559
- 「医学史ミニ博物館175 東京女子医大創立100年」大村敏郎『医学のあゆみ』195(11,12)823
- 「医療と歴史との接点を求めて『解体新書』外伝」大村敏郎『医薬の門』40(2)126-129
- 「医療と歴史との接点を求めて ルイ・パストゥール再び」大村敏郎『医薬の門』40(3)230-233
- 「医療と歴史との接点を求めて 200年前の外科医群像」大村敏郎『医薬の門』40(4)334-337
- 「20世紀の回顧と21世紀への展望 肝臓病学20世紀のあゆみ、さて次の世紀は…」織田敏次『日本臨床』58(3)720-736
- 「古今東西 開頭術史話 人類最古の手術」古和田正悦『プレインナーシング』16(13)1520-1522
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る3 X線CTと高橋信次」金子昌生『日医ニュース』(922)4
- 「民主的集談医療の発展の歴史的経過、現状の到達点と今後の課題」木村耕也『健生病院医報』2594-98
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る12 1936年浜松大福餅中毒事件 サルモネラ食中毒」小林武夫『日医ニュース』(933)4
- 「医と人間 医学・医療の歴史」酒井シヅ『日本医師会雑誌(特別号)』123(12)22-25
- 「医療・医学史の中の二〇世紀」酒井シヅ『岩波書店20世紀の定義(1)20世紀への問い』75-101

- 「東西の身体観の比較<上>『解体新書』に現れた東西の違い」  
酒井シヅ『言語』29(10)14-19
- 「東西の身体観の比較<中>頭で考えるか腹で考えるか」酒井  
シヅ『言語』29(11)14-18
- 「東西の身体観の比較<下>腎臓と腎—泌尿器か生殖器か」酒  
井シヅ『言語』29(12)14-18
- 「日本近代医学の成立と西洋医学のインパクト」酒井シヅ  
『Live Lib!』(25)3-10
- 「病氣と人生・置き薬と吸入器」酒井シヅ『日本人の暮らし』  
205-222
- 「健康と医学 20世紀から21世紀に」酒井シヅ『学術の動  
向』5(8)75-77
- 「幕末から日本近代医学の確立まで」酒井シヅ『神奈川医学  
会雑誌』27(1)54
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 11 心電計の臨  
床応用—電気生理学的診断法の始まり」坂本二哉『日医ニ  
ュース』(932)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 5 ピルケのアレ  
ルギー学説」佐藤隆久『日医ニュース』(924)4
- 「医学の歴史の窓から」鯨島夏樹『北辰』(3)1-10
- 「ドイツ医学はわが国にいかにして導入されたか 歴史に埋  
没したドイツ医学採用の功労者」篠田達明『GPnet』  
47(10)52-53
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 13 人工腎臓(血  
液透析)の歴史」白井洸『日医ニュース』(934)4
- 「看取りの文化とその歴史(抄)」新村拓『日本医史学雑誌』  
46(3)304-306
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 6 化学療法の幕  
開け—病原体を特異的に狙う「魔法の弾丸」サルバルサン  
—」末廣雅也『日医ニュース』(927)4
- 「20世紀の回顧と21世紀への展望 血液学」高久史鷹『日本  
臨床』58(4)962-968
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 8 超音波診断法  
と日本」竹内久彌『日医ニュース』(929)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 14 ラジオアイ  
ソトープと核医学 核医学の生みの親」館野之男『日医ニ  
ュース』(935)4
- 「儒学と医学—『懽堂日歴』とその周辺」多留淳文『斯文』(108)  
104-121
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 2 鈴木梅太郎と  
ビタミンの発見」月澤美代子『日医ニュース』(921)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 9 DNAの発  
見」月澤美代子『日医ニュース』(930)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 10 インスリン  
の発見をめぐって」月澤美代子『日医ニュース』(931)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 15 試験管ペビ  
ーの誕生」月澤美代子『日医ニュース』(936)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 20 クローン羊

- の誕生」月澤美代子『日医ニュース』(942)4
- 「古医書の医学・医師教育用デジタルアーカイブの試行(抄)」筒井淳治、田中新二、芦原司『日本医史学雑誌』46(3)438-439
- 「内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)とその問題点 化学物質の歴史と内分泌攪乱科学物質」常石敬一『産婦人科の実際』49(8)961-966
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 18 免疫とノーベル賞」徳久剛史『日医ニュース』(939)4
- 「京都と性科学—性科学京都学派の現代史(抄)」友吉唯夫『日本医史学雑誌』46(3)300-303
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 第1回ノーベル医学賞を逸した日医初代会長 北里柴三郎」中村禎里『日医ニュース』(920)4
- 「古代史への人類学の適用(抄)」T. Nara, J. Sawada, Y. Dodo『Anthropological Science』108(1)114
- 「医療と風土性に関する考察」西巻明彦、陶粟嫻『日本歯科医史学会々誌』23(3)151-155
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 16 ガストロカメラの開発・改良 日本のお家芸」丹羽寛文『日医ニュース』(937)4
- 「女性の病の社会史」野末悦子『神奈川医学会雑誌』27(1)163-165
- 「医学の20世紀 赤十字社の結成からWHOの成立まで」原田尚『内科』86(2)399-403
- 「医学の20世紀 血液型の発見から輸血法の確立、近代外科への貢献」原田尚『内科』85(3)566-568
- 「21世紀の開業医医療 開業医300年史・保団連運動の源流を求めて 分け入っても分け入っても青い山(山頭火)」平井正也『月刊保団連』(640)36-44
- 「医史学は閑人のものか」深瀬泰旦『Scientia』(創刊号)17-19
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 19 小児麻痺とワクチン」深瀬泰旦『日医ニュース』(940)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 21 天然痘の撲滅」深瀬泰旦『日医ニュース』(943)4
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 17 心臓移植の成功」藤倉一郎『日医ニュース』(938)4
- 「20世紀の回顧と21世紀への展望 感染症 Infectious diseases」松本慶蔵『日本臨床』58(2)477-484
- 「明治十四年の政変への道程(二)—東京大学と独逸学協会のばあい—」森川潤『広島修大論集』40(2)1-36
- 「日本海軍歯科医科士官の歴史 [X] 創設の前夜(抄)」山崎智『日本歯科医史学会々誌』23(4)278-279
- 「日本海軍歯科医科士官の歴史 [IX] 創設への動き」山崎智『日本歯科医史学会々誌』23(3)205-206
- 「医史百年 20世紀の医学・医療をふり返る 7 がんの化学療法剤開発と薬学者・石館守三」山田光男『日医ニュース』(928)4

## 07 医の倫理

- 「戦前の医学・医療界の戦争責任を考える 1945年「九州大学・生体解剖事件」」 昉昭三『医学評論』(102)6-11
- 「医・生命倫理、五十年余の回顧と今後への希望」 品川信良『医学哲学医学倫理』(18)134-143
- 「医の倫理の歴史と教育(抄)」 関根透『神奈川医学会雑誌』27(2)320-321
- 「鎌倉時代の僧医のターミナル・ケアと医の倫理観についての研究」 関根透、北村中也『健康文化研究助成論文集』(6)58-64
- 「鎌倉時代のターミナル・ケア教育について『看病用心鈔』からの検討」 関根透、北村中也『日本歯科医学教育学会雑誌』15(2)262-268
- 「Bioethics：医学の進歩と医の倫理 医学の進歩と生命倫理 日本のヒューマン・リプロダクションの文化的考察 過去・現在・未来」 古谷博『産婦人科の世界』52(春季増刊)29-36
- 「医学館の学問形成(三) 幕末考証学の位相」 町泉寿郎『日本医史学雑誌』46(1)3-22
- 「医学館の学問の形成について」 町泉寿郎『日本医史学雑誌』46(4)675-677
- 「Bioethics：医学の進歩と医の倫理 医学の進歩と生命倫理 先端医療とバイオエシックス」 松田一郎『産婦人科の世界』52(春季増刊)11-16

## 08 医療器械

- 「【21世紀のBMEタイムテーブル】 クリニカルエンジニアリング 100年の計」 小野哲章『BME』14(1)18-21
- 「Carl Zeiss カールツアイスの歴史」 志賀正久『細胞』32(7)268-272
- 「消化管内視鏡を育てた人々 胃カメラの普及」 長廻紘『クリニシアン』47(1)86-90
- 「消化管内視鏡を育てた人々 ファイバースコープの登場」 長廻紘『クリニシアン』47(2)201-206
- 「消化管内視鏡を育てた人々 コロノスコープの開発 その2・承前」 長廻紘『クリニシアン』47(8)621-628
- 「少し昔の道具と暮らし 聴診器」 林丈二『臨床看護』26(12)1844-1845
- 「生物 全体史 生物電子顕微鏡法の発展史」 山田英智『電子顕微鏡』35(2)101-104

## 09 医療制度史・医療史

- 「お目見え一陪臣蘭方医の位置付けについて一」 乾康二『一滴』(8)85-97
- 「汪兆銘政府・蔣介石国民政府統治下中国の医療制度について」 上野陽里『医学史研究』(78)31-35
- 「明治期待医制度と池田文書(抄)」 遠藤正治『日本医史学雑誌』46(3)416-417
- 「結核 昨日・今日・明日」 梶田昭『医学史研究』(78)9-19

- 「江戸幕府の医療制度に関する史料 (九)一坂四家の『官位家譜』など (二) (三)」香取俊光『日本医史学雑誌』46(1-2) 86-98, 255-266
- 「昭和30年代の医学・保健・医療 (2) 新制大学への転換と歯系学校」神谷昭典『医学史研究』(78)1-4
- 「江戸医学館で行われた口科考試について (抄)」戸出一郎、別部智司、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』23(4)269-270
- 「昭和30年代の医学・保健・医療 (2) 昭和30年代の病院と看護婦」長門谷洋治『医学史研究』(78)5-8
- 「20世紀医療史 61 向老・終末期ケア」野村拓『月刊保団連』(640)58-59
- 「20世紀医療史 62 医師過剰論」野村拓『月刊保団連』(642)50-51
- 「20世紀医療史 63 都市化と保健・医療」野村拓『月刊保団連』(643)50-51
- 「20世紀医療史 64 世代的再生産のみだれ」野村拓『月刊保団連』(654)58-59
- 「20世紀医療史 65 地域医療・看護・介護」野村拓『月刊保団連』(660)50-51
- 「20世紀医療史 66 市場原理と医療」野村拓『月刊保団連』(663)50-51
- 「20世紀医療史 67 医療における公共軸は？」野村拓『月刊保団連』(668)52-53

- 「20世紀医療史 68 医師と患者・住民」野村拓『月刊保団連』(673)66-67
- 「20世紀医療史 69 ジェンダーとケア」野村拓『月刊保団連』(676)50-51
- 「20世紀医療史 70 戦争と医療」野村拓『月刊保団連』(679)50-51
- 「20世紀医療史 71 まやかし語・「介護」」野村拓『月刊保団連』(684)50-51
- 「20世紀医療史 72 最終回 21世紀医療の展望」野村拓『月刊保団連』(688)66-67
- 「医薬分業の史的考察 (後)」原健二『地域医学』14(4)276-279

## 10 衛生・公衆衛生史・予防医学史

- 「各分野で活躍する看護職 学校健康相談の時代的変遷とその内容 私立女子中学・高校を対象として」飯田澄美子『保健の科学』42(10)809-814
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした制度 健康面から見た環境衛生行政の取組」池田誠『生活と環境』45(12)58-62
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境問題を警鐘した人物 環境衛生を拓いた人たち」稲場紀久雄『生活と環境』45(12)24-29
- 「トンネルじん肺裁判の教訓 青函トンネル直轄工事の粉じん対策 (抄)」白谷三郎『産業衛生学雑誌』42(1)29

- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした制度 東京における廃棄物行政の100年」内田健一郎『生活と環境』45(12)63-69
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 衛生害虫駆除技術」緒方一喜『生活と環境』45(12)70-75
- 「健康危機管理体制 松本サリン事件と東京地下鉄サリン事件両事件が歴史に残したもの、或いは残すべきもの」奥村徹『松本市の保健衛生』22(別冊)94-97
- 「21世紀に期待される医学・医療 社会医学 緩和医療・ホスピス医療 その歴史と現状」柏木哲夫『医学のあゆみ』195(13)1066-1067
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 環境問題を訴えた思想家たち」加藤三郎『生活と環境』45(12)17-23
- 「労働衛生工学の100年を顧みて」興重治『労働の科学』55(9)568-571
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした制度 20世紀の環境衛生行政・廃棄物行政」小林康彦『生活と環境』45(12)36-43
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 し尿処理技術の発展」桜井敏郎『生活と環境』45(12)76-81
- 「昭和24年日本水素小名浜工場における一酸化炭素中毒調査前後(抄)」佐々木直亮『産業衛生学雑誌』42(1)30
- 「常磐炭礦における熱中症研究と東北大学医学部鉱山医学研究会(抄)」白鳥常男『産業衛生学雑誌』42(1)29-30
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 産業廃棄物処理技術 ゼロエミッションへの道程」杉島和三郎『生活と環境』45(12)101-107
- 「1950年代(昭和30年前後)の小児科及び児童福祉関係勤務の思い出」高木秀夫『医学史研究』(77)24-26
- 「原爆医療法の制定(1957)過程について」高木昌彦『医学史研究』(77)10-13
- 「労働衛生の100年をふりかえって」館正知『労働の科学』55(7)428-431
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 水質汚濁防止技術 下水と事業場排水の処理」地田修一『生活と環境』45(12)95-100
- 「農村医学の100年を振り返って—農業労働衛生を中心に—」角田文男『労働の科学』56(2)28-31
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の公衆衛生の歴史 公衆衛生の歴史と環境衛生」西三郎『生活と環境』45(12)30-35
- 「産業医学の100年を顧みて(1)—20世紀日本の歩み—」野村茂『労働の科学』55(5)24-28
- 「産業医学の100年を顧みて(2)—20世紀欧米の歩み—」野村茂『労働の科学』55(6)359-363
- 「働く人の健康 労働と健康と その百年を顧みて」野村茂

- 『労働の科学』55(1)28-29
- 「産業衛生行政の100年を顧みて 産業衛生関係法規制定の歩み」馬場快彦『労働の科学』55(12)797-800
- 「産業衛生の100年をふり返って 産業中毒を中心に」原一郎『労働の科学』55(8)494-497
- 「〔医療保障・自由集会 (1959-79)〕 (日本公衆衛生学会) の記録⑥医療と予防の有機的連けい—とくに公的医療機関の役割—」東田敏夫『医学史研究』(77)27-32
- 「〔医療保障・自由集会 (1959-79)〕 (日本公衆衛生学会) の記録⑦「新しい地域医療」と地方自治体—難病者対策を中心として—」東田敏夫『医学史研究』(77)33-36
- 「〔医療保障・自由集会 (1959-80)〕 (日本公衆衛生学会) の記録⑧医療保障をめぐる経済問題」東田敏夫『医学史研究』(78)20-26
- 「〔医療保障・自由集会 (1959-80)〕 (日本公衆衛生学会) の記録⑨「医療サービスのあり方」をめぐる」東田敏夫『医学史研究』(78)27-30
- 「昭和30年代前後の社会衛生事情—私の学習体験から—」東田敏夫『医学史研究』(77)14-23
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 わが国における大気汚染防止技術」氷見康二『生活と環境』45(12)88-94
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 ごみ焼却関連技術」平山直道『生

活と環境』45(12)82-87

- 「1999年度「要望課題」〔昭和30年代の医学・保健・医療〕の趣旨」水野洋『医学史研究』(77)1-2
- 「【一歩先ゆく褥瘡ケア】 わが国の褥瘡予防・治療・ケア100年のあゆみ」美濃良夫『エキスパートナーズ』16(3)44-50
- 「各分野で活躍する看護職 学校健康相談を学ぶ会 その歴史と現在の活動」森田光子『保健の科学』42(10)804-808
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を変えた制度 20世紀の環境・公害行政を振り返る」柳下正治『生活と環境』45(12)44-57
- 「20世紀の環境衛生史 その時、環境は動いた 20世紀の環境衛生を動かした技術 最終処分技術「福岡方式」誕生への取り組み」山手達男、真次寛『生活と環境』45(12)108-112
- 「栄養改善運動の功罪—栄養学の未成熟がもたらす諸問題—」吉岡やよい『医学史研究』(77)3-9
- 「統計は語る 食べ物と国民栄養の変遷と病気の変遷」和田攻『日本医師会雑誌』123(10)1583-1587

## 11 解剖学史

- 「ゲーテの切歯縫合 (間顎骨) について」大鶴正満『琉球医学会誌』19(2)53-57
- 「「シャレコーベは語る」9. 頭蓋骨計測機を用いた頭脳の評価」河本圭司『いずみ』47(1)12-13

- 「シャレコーベは語る」10. 古代「死者の書」河本圭司『い  
ずみ』47(2)8-9
- 「シャレコーベは語る」11. ピルトダウン人：古人骨の偽造  
事件」河本圭司『いずみ』47(3)8-9
- 「シャレコーベは語る」12.」河本圭司『いずみ』47(4)8-9
- 「シャレコーベは語る」13. 戦争とシャレコーベ」河本圭司  
『いずみ』47(5)8-9
- 「シャレコーベは語る」14. インカ文明のミイラ」河本圭司  
『いずみ』47(6)8-9
- 「シャレコーベは語る」15. 人魚、カッパのミイラ」河本圭  
司『いずみ』47(7)8-9
- 「シャレコーベは語る」16. 即身仏ミイラ」河本圭司『いず  
み』47(8)8-9
- 「シャレコーベは語る」17.」河本圭司『いずみ』47(9)8-9
- 「シャレコーベは語る」18. カタコンベ（地下墓地）」河本圭  
司『いずみ』47(10)8-9
- 「『阿蘭陀経絡筋脈臟腑図解』からみた十七世紀末におけるわ  
が国の身体観（抄）」計良吉則、酒井シヅ『日本医史学雑  
誌』46(3)446-447
- 「糸球体足細胞の生物学 医と球体研究の歴史の変遷」坂井  
建雄『解剖学雑誌』75(1)9
- 「人体内景圖に於ける脂膜、脂膏、脂膜と臍臟（抄）」高島文  
一『医譚』(75)29-30
- 「脳を固める・切る・染める—先人の知恵—第26回～第29回」

萬年甫『Brain Medical』12(1-4)83-89,201-208,309-318,  
419-428

## 12 眼科史

- 「眼病に効く温泉史（抄）」奥沢康正『医譚』(75)34-35
- 「眼科秘伝書の彩色眼病図譜の特長（抄）」奥沢康正『日本医  
史学雑誌』46(3)448-449
- 「眼科医のための遺伝子入門 遺伝子について」坂本泰二『あ  
たらしい眼科』17(1)67-68
- 「角膜移植の歴史と現況」本村幸子『移植』35(6)335-344
- 「大分県立病院医学校における眼科診療について（抄）」山之  
内外一『日本医史学雑誌』46(3)394-395
- 「瞳孔とその異常 瞳孔の歴史 人々は瞳孔に何を見て、何  
を考えたか？—概説」Loewenfeld Irene E.『眼科診療プラ  
クティス』5814-21

## 13 看護史

- 「【虐待】介護とは その歴史的背景」今田拓『保健の科学』  
42(3)164-169
- 「【「看護必要度」の意味】より適切な評価基準は何か 看護  
必要度への取り組みの歴史的概観」岩澤和子『看護』52(3)  
22-24
- 「長崎医学史と看護 医学史研究者中西啓先生に聞く 聞き  
手：植田悠紀子、山本富士江」植田悠紀子、山本富士江

- 『看護教育』41(12)1035-1039
- 「看護教育の原点を見る 長崎県所轄医療職教育の歴史的考察」白井敏明『看護教育』41(12)1031-1034
- 「助産婦の100年 世紀を越えるもの 産婆の近代から助産婦の現代へ」大出春江『助産婦雑誌』54(12)1019-1024
- 「精神科看護のこれから 精神科看護の歴史と今日的課題」菊地謙一郎『ナースデータ』21(11)7-13
- 「ケアの質とスタッフ配置のための研究 米国における患者分類システムの歴史的背景」住吉蝶子、竹谷美穂、山崎慶子『看護管理』10(7)571-575
- 「年表で見る日本の看護・看護教育の100年」高橋みや子、三上れつ『看護教育』41(8)572-585
- 「臨床看護に関する研究の動向と今後の課題 看護歴史に関する研究の動向と今後の課題」高橋みや子、三上れつ『看護研究』33(6)493-503
- 「『助産の栞』の果たした役割」日隅ふみ子『京都大学医療技術短期大学部紀要』(20)79
- 「各府県で発令された看護婦規則にみる看護婦資格の条件—大正四年以前の二十九府県の看護婦規則から(抄)」平尾真智子『日本医史学雑誌』46(3)414-415
- 「ナイチンゲール「看護覚え書」の草稿と思われるクラウド・モリス社刊“The Art of Nursing”(一九四六)」平尾真智子『日本医史学雑誌』46(2)225-246
- 「看護のための「いのちの歴史の物語」(8-9)」本田克也、加

- 藤幸信、長坂猛『総合看護』35(1-2)27-32,26-31
- 「看護のための「いのちの歴史の物語」(10)」本田克也、浅野昌充、加藤幸信『総合看護』35(3)29-32
- 「看護のための「いのちの歴史の物語」(11)」本田克也、加藤幸信、菅野真理『総合看護』35(4)18-22
- 「看護の思想 その源泉をたずねて 養生訓の著者たち」真壁伍郎『総合看護』35(4)33-44
- 「助産婦の100年 世紀を越えるもの 医療の中の助産」松岡悦子『助産婦雑誌』54(12)1031-1036
- 「精神科看護の歴史に関する研究の動向 過去13年間の文献検索から」山内学、上野栄一『日本看護研究学会雑誌』23(3)381
- 「横浜市立大学医学部病院における看護のあゆみ(抄)」吉川幸子『神奈川医学会雑誌』27(2)321-322
- 「助産婦の100年 世紀を越えるもの 出産は生む人もの地域共同体が支えた生む人の安心」吉村典子『助産婦雑誌』54(12)1025-1030

#### 14 寄生虫学史

- 「「蟲書」についての一考察(抄)」戸田静夫、亀節子『日本医史学雑誌』46(3)420-421

#### 15 教室史・大学史

- 「明治期の薬学校史 明治薬科大学の歴史」大島融『薬史学雑

誌』35(1)1-6

「明治期公立医学校の授業科目—分析と特色—」小形利彦『洋学史学研究会年報』(8)67-94

「大阪女子高等歯科医学校について(抄)」加來洋子、大場重信、石橋肇、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)249

「日本大学歯科医学校について(抄)」加來洋子、渋谷幸男、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)248

「京北歯科醫學校學則摘要について(抄)」加來洋子、村木春長、武藤雄、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)244

「済生学舎廃校直前の「学内改革」の資料について(抄)」唐沢信安『日本医史学雑誌』46(3)396-397

「東洋歯科医学専門学校の日本大学への合併までの経緯とその後の展開(抄)」工藤逸郎、三宅正彦、見崎徹、京田直人、岡俊一、金山利吉『日本歯科医史学会々誌』23(4)247

「明治中期東京大学医学部卒業生動静一覧」小関恒雄『医譚』(76)1-21

「高山歯科医学院と高等中学医学部(抄)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』23(4)245-246

「資料でみる日本大学歯学部簡史(抄)」谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)233-234

## 16 軍陣医学史

「第一次大戦の航空医学(抄)」黒澤嘉幸『日本医史学雑誌』46(3)426-427

「日中戦争時における陸軍の医療体制(抄)」坪井良子『日本医史学雑誌』46(3)424-425

「「横浜病院日記」の研究余滴 開院前後のこと」中西淳朗『月刊保団連』(679)44-48

「横浜病院日記」の研究余滴 鎮将府のできるまで」中西淳朗『月刊保団連』(684)66-70

「戦前の医学・医療界の戦争責任を考える 海国日本の病气戦時体験から今後の対策について」西谷宣雄『医学評論』(102)12-16

## 17 形成外科史

「形成外科手術手法の歴史 手の先天異常 合指症」児島忠雄『形成外科』43(1)47-57

「形成外科手術手技の歴史 癭痕拘縮治療手技の変遷(前編、後編-1,2)」難波雄哉『形成外科』43(8,10,12)793-799, 957-963, 1203-1208

「形成外科手術手技の歴史 全耳介再建の歴史」福田修『形成外科』43(4)383-396

## 18 外科史

「熱傷患者の栄養管理の変遷 熱傷治療の歴史」池田弘人、小林国男『輸液・栄養ジャーナル』22(5)303-306

「医学史随想 Halsted とその時代(1-4)」泉雄勝『乳癌の臨床』15(3-6)295-300, 377-384, 525-531, 659-668

- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 心臓(AC-バイパス術)」遠藤真弘『日本外科学会雑誌』101(12)827-832
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 外科の100年」大村敏郎『日本外科学会雑誌』101(12)882-884
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 食道癌手術の変遷・歴史」掛川暉夫『日本外科学会雑誌』101(12)847-854
- 「わが国に心臓移植が定着するには何が必要か 国際的視野からみた日本の心臓移植 米国の実情-30年の歴史から」川合明彦『呼吸と循環』48(6)553-555
- 「わが国における鼠径ヘルニアの歴史」川満富裕『外科』62(11)1292-1297
- 「Sentinel Node Conceptは癌の外科治療を変えられるか その理論と歴史的背景」北島政樹、北川雄光『臨床外科』55(3)281-286
- 「わが国古来よりの肛門疾患治療の変遷 古代より江戸時代末期まで」衣笠昭『日本大腸肛門病学会雑誌』53(6)339-347
- 「わが国古来よりの肛門疾患治療の変遷 明治・大正時代より昭和時代中期まで」衣笠昭『日本大腸肛門病学会雑誌』53(7)425-430
- 「わが国古来よりの肛門疾患治療の変遷 昭和時代中期より現代まで」衣笠昭『日本大腸肛門病学会雑誌』53(8)509-515
- 「Neurovascular Decompression Surgery 歴史と今後の展望

- (抄)」近藤明恵『日本脳神経外科学会 59 回総会抄録集』115
- 「老親に授乳する若い母」酒井シヅ『Mamma』(36)表2
- 「外科医の世紀 近代外科のあけぼの」Thorwald Jurgen『消化器外科』23(1)73-79
- 「虚血性心疾患患者に対する手術の歴史と展望」高沢賢次『体外循環技術』27(1)1-7
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 乳癌」田島知郎『日本外科学会雑誌』101(12)833-839
- 「冠動脈形成術治療のABC 冠動脈形成術の意義と歴史」平山篤志、児玉和久『ハートナーシング』13(10)1138-1142
- 「肝臓移植、過去、現在、未来(抄)」藤堂省『日本泌尿器科学会雑誌』91(3)100-101
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 肝癌」幕内雅敏、菅原寧彦『日本外科学会雑誌』101(12)865-868
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 膵頭部癌」水本龍二、濱田賢司『日本外科学会雑誌』101(12)869-876
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 甲状腺(バセドウ病)」三村孝、伊藤國彦『日本外科学会雑誌』101(12)824-826
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 大腸癌」武藤徹一郎『日本外科学会雑誌』101(12)861-864
- 「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 胆嚢・総胆管結石に対する外科手術の歴史的変遷 切開排膿/結石摘出/ドレナージの時代から内視鏡下外科手術の時代へ」山川達郎、福田直人『日本外科学会雑誌』101(12)877-881

「血管外科手術の歴史と今後の展望」山本晋『体外循環技術』  
27(4)1-6

「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 胃癌外科手術の変遷・  
歴史」吉野肇一『日本外科学会雑誌』101(12)855-860

「心臓外科の歴史(英文)(抄)」Replogle Robert L.『日本心  
臓血管外科学会雑誌』29(Suppl.)1-2

「開胸術の歴史と基本手技」渡辺洋宇『The Japanese Journal  
of THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY』  
48(増刊)126

「臓器別にみた外科手術の変遷・歴史 肺癌」渡辺洋宇『日本  
外科学会雑誌』101(12)840-846

## 19 細菌学史

「病原微生物学の歴史的意義」村上陽一郎『無菌生物』30(1)  
24-25

## 20 産婦人科史

「産婦人科医のための漢方の知識 漢方医学と西洋医学の接  
点」後山尚久『産婦人科治療』81(2)201-207

「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 ゴナドトロピンの生  
物学と化学」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN  
GYNECOLOGY』7(3)324-331

「助産婦の歴史」石原力『ペリネイタルケア』19(1-2,5-7,9-  
14)62-63, 126-127, 408-409, 532-533, 646-647, 912-913,

1060-1061, 1134-1135, 1224-1225, 1332-1333, 1440-1441

「産婦人科散歩 <1> Soranus の「Gynecology」と Moschion」  
酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』13(1)32-33

「産婦人科散歩 <2> Papanicholau が創案した塗抹細胞診法」  
酒井シヅ『THE FEMALE PATIENT』13(2)31-33

「日本の周産期医学を振り返る 周産期医学の歴史、回想」坂  
元正一『周産期医学』30(12)1533-1538

「無痛分娩・和痛分娩 無痛分娩の歴史と日本の現況」鈴木健  
治『臨床婦人科産科』54(8)974-977

「日本の周産期医学を振り返る 帝王切開の歴史」鈴木正利  
『周産期医学』30(12)1625-1627

「低用量ピルの最新のトピックス 低用量ピルの歴史・現状と  
展望」武谷雄二『医薬ジャーナル』36(3)951-956

「日本における水中出産の歴史と現状」土谷美恵、成田伸、中  
野美佳、喜多淳子、山本智子『助産婦雑誌』54(7)615-620

「Pill 解禁余聞 経口避妊薬の歴史と製品開発の経緯」豊川  
竣輔、谷口雅志『産婦人科の世界』52(5)413-424

「日本の周産期医学を振り返る 陣痛(子宮収縮)制御の歴史」  
中井祐一郎、西尾順子、山杓誠一、荻田幸雄『周産期医学』  
(12)1622-1624

「女性の病の社会史」野末悦子『日本医史学雑誌』46(2)271-  
275

「経口避妊薬 OC OC の歴史」廣井正彦『HORMONE  
FRONTIER IN GYNECOLOGY』7(2)115-120

「避妊 避妊法の実際 経口避妊薬 経口避妊薬の歴史と開発の経緯」水口弘司『産科と婦人科』67(Suppl.)44-51

## 21 歯学史

「[批判研究 博士人物 医科篇]について(抄)」石橋肇、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)240-241

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第14報—1935~1939年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光荣、鈴木雄士、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』23(2)117-121

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第15報—1940~1944年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光荣、鈴木雄士、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』23(2)122-126

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第16報—1945~1949年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光荣、鈴木雄士、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』23(3)173-179

「カナダに於ける歯科教育の歴史 第17報—1950~1954年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光荣、鈴木雄士、Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』23(3)180-185

「カナダに於ける歯科教育の歴史 最終報—1955-1965年間の歯科及び歯科教育の貢献者像—」尾島光荣、鈴木雄士、

Kenji Kenneth Shimizu『日本歯科医史学会々誌』23(4)287-290

「軍陣歯科学(第7報)(抄)」落合俊輔、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)280-281

「九州歯科医学専門学校における航空部について(3) 高空飛行の歯科的文献について(抄)」上瀉口武、上西秀則、小林茂『日本歯科医史学会々誌』23(4)276-277

「九州歯科医学専門学校における航空部について(2)(抄)」上瀉口武、小林茂、嶋村昭辰『日本歯科医史学会々誌』23(4)274-275

「北原白秋作詞による歯学、医学の歌」齊藤力『日本歯科医史学会々誌』23(4)291-302

「昭和35年に行われた日米修好歯科百年記念会について(抄)」渋谷敏『日本歯科医史学会々誌』23(4)231-232

「昭和初期の頃の学校歯科(8mm無声映画)(抄)」渋谷敏『日本歯科医史学会々誌』23(4)235

「ランケの『世界史概観』と日本近代歯科(抄)」新藤恵久『日本歯科医史学会々誌』23(4)242

「日本における医・歯学の学位制度の起源とその発展—歯科医師の立場より—」杉本是孝『日本歯科医療管理学会雑誌』35(2)182-183

「日本における医・歯学の学位制度の起源とその発展—歯科医師の立場より—」杉本是孝、中山孝子『東北大学歯学雑誌』19(1)80

- 「日本における医・歯学の学位制度の起源とその発展—歯科医師の立場より—」杉本是孝、中山孝子『日本歯科医史学会々誌』23(3)166-172
- 「総合的な家事用書に見られる口腔衛生の記事(抄)」高崎一郎、森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(4)285
- 「EBMと歯科医療 EBMの歴史的・社会的背景とEBM導入による臨床の変化」名郷直樹『歯界展望』95(1)43-48
- 「エコミュージアムと歯科医療(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』23(4)265
- 「歯科風俗の描かれた浮世絵のジェンダー(その2)(抄)」西巻明彦『日本歯科医史学会々誌』23(4)243
- 「小青竜湯における歯科的研究(抄)」西巻明彦、屋代正幸、藤野瑠男『日本歯科医史学会々誌』23(4)273
- 「日本の男子歯科医師の平均寿命は国民全体より長い(抄)」丹羽源男、佐藤勉『日本歯科医史学会々誌』23(4)263
- 「邦文文献にみる歯鍵の用法(抄)」樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)250
- 「印象用トレーの発達について(抄)」平田幹男『日本歯科医史学会々誌』23(4)251-252
- 「江戸時代尾道久保町の宿屋宿泊名簿にみる入歯師(抄)」松田信隆、小嶋敏嗣『日本歯科医史学会々誌』23(4)271
- 「西洋歯科医の草分け・一井正典 特に帰国当時の米国歯科協会の状況について(ドクトル・ノ井及び榎本積一の演説筆記から)」松本晋一、渋谷敦『日本歯科医史学会々誌』

23(3)191

- 「サンフランシスコの歯科医の日記(その3)—米国史とくに1860年代の政治・社会的背景—」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(2)103-109
- 「歯科医学関係の郵便絵ハガキ分類方式の研究」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(2)110-121
- 「野口英世ゆかりの細菌検査室保存会の歴史(抄)」森山徳長『日本歯科医史学会々誌』23(4)239

## 22 史跡・記念碑

- 「沖縄医生教習所碑再建について」新垣敏雄『日本医史学雑誌』46(4)662-669
- 「台湾のオランダ、スペイン、イギリス関係史跡と医史跡」石田純郎『医譚』(75)52-43
- 「チェコ、オーストリア、スロバニア、クロアチア医史跡散歩」石田純郎『医譚』(76)64-56
- 「ネパール医史跡散歩」石田純郎『医譚』(76)54-44
- 「香港・マカオの医史跡(抄)」石田純郎『医譚』(75)37-36
- 「ミャンマー(ビルマ)のバカン遺跡の旅」石田純郎『医譚』(75)62-53
- 「中欧のペスト塔について(抄)」石田純郎『日本医史学雑誌』46(3)336-337
- 「横浜市大にシモンズ碑建つ」大滝紀雄『日本医史学雑誌』46(4)659-660

「医家先哲墓参誌 (上・中・下) —京都市特集—」多留淳文『漢方の臨床』47(6-8)783-844, 987-1028, 1215-1238

「医家先哲墓参誌 (第2回) 田村玄仙・小倉重成・遠山孝庵」多留淳文『漢方の臨床』47(2)

「目黒寄生虫会館とその使命 (抄)」寺畑喜朔『医譚』(75)33

「ローマのテレビの泉に飾られたヒゲエアの彫像」古川明『STETHOSCOPE』(162)2-4

「中川五郎治顕彰碑」について」松木明知『日本医史学雑誌』46(4)661-662

## 23 疾病史

「ハンセン病と小川正子・太田正雄・平畑静塔」浅香昭雄『日本ハンセン病学会雑誌』69(1)56

「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って IV. レニン・アンジオテンシン系の発見からノックアウトマウスまで」荒川規矩男『血圧』7(11)1153-1157

「骨代謝研究の歴史 カルシトニン研究の歴史」大西利夫『Clinical Calcium』10(9)1142-1145

「粘液産生膵腫瘍 (膵管内乳頭腫瘍) 診断と治療の進歩 粘液産生膵腫瘍 (膵管内乳頭腫瘍) の疾患概念と歴史」大橋計彦『消化器病セミナー』791-10

「インフルエンザをどう診るか インフルエンザの歴史と予防・治療の現状」奥野良信『月刊保団連』(684)6-11

「【インフルエンザ】 医学史からみたスペインかぜ」加地正

郎『総合臨床』49(2)256-258

「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 遺伝から遺伝子まで」勝谷友宏、桧垣寶男、荻原俊男『血圧』7(8)865-871

「【アルツハイマー病をめぐる最近の諸問題】 アルツハイマー病の歴史 老年痴呆との関係などを含めて」亀山正邦『カレントセラピー』18(4)532-534

「わが国の痴呆研究の歴史 血管性痴呆研究の歴史的考察」亀山正邦『Dementia Japan』14(1)2-8

「舌癌 舌癌治療の変遷と未来」木田亮紀、遠藤壮平『JOHNS』16(4)545-548

「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 腎臓説をめぐる」木村玄次郎『血圧』7(10)1059-1064

「骨粗鬆症治療におけるビタミンDの役割 骨粗鬆症治療薬としてのビタミンD剤の歴史」久保寺登、森下芳臣『Clinical Calcium』10(9)1041-1047

「わが国の痴呆研究の歴史 非アルツハイマー型変性痴呆」小阪憲司『Dementia Japan』14(1)15-24

「近代血液学の建設者 白血病研究の歴史」柴田昭『Sysmex Journal』23(1)19-28

「20世紀の肺癌学を回顧する 病理 肺癌の診断病理学はどこまで進歩してきたか」下里幸雄『肺癌』40(5)349

「痴呆の生活支援 痴呆を理解する 社会・生活の中で 歴史にみる痴呆老人」新村拓『作業療法ジャーナル』34(5)387-390

- 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 中枢神経説をめぐって」高橋伯夫『血圧』7(9)971-978
- 「膠原病 その概念の歴史の変遷」竹原和彦『日本皮膚科学会雑誌』110(4,12)568,1855-1856
- 「肝硬変の今昔」田中照二『東京慈恵会医科大学雑誌』115(4)455-469
- 「食医同源 食物とガンの関係とその歴史」鶴見隆史『難病と在宅ケア』6(1)66
- 「結核の歴史・現状・対策」戸井田一郎『広島県病院薬剤師会誌』35(1)17-23
- 「【家庭血圧】家庭血圧測定 of 歴史」朽久保修、水嶋春朔『血圧』7(4)339-342
- 「インフルエンザ 治療の歴史 インフルエンザ流行史」中島節子、中島捷久『治療学』34(1)117-120
- 「職業性喘息 研究の歴史 (1-4)」中村晋『喘息』13(1-4)93-96,115-120,115-120,115-120
- 「20世紀の肺癌学を回顧する 放射線治療 肺癌の診断治療はどこまで進歩してきたか」新部英男『肺癌』40(5)351
- 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 二次性高血圧発見の歴史」日和田邦男『血圧』7(12)1239-1245
- 「原典・古典の紹介 Gerstmann 症候群」古川哲雄『神経内科』52(4)394-399
- 「20世紀の肺癌学を回顧する 化学療法 非小細胞癌の化学療法はどこまで進歩してきたか」古瀬清行『肺癌』40(5)

350

- 「鎌倉時代における叡尊・忍性の救癩事業 イギリス中世の状況と対比して」Murphy Trevor William、山縣然太郎『日本ハンセン病学会雑誌』69(1)55
- 「【結核の病院感染対策】結核の歴史的背景」毛利昌史『INFECTION CONTROL』9(3)266-267
- 「骨粗鬆症の研究史」森井浩世『Clinical Calcium』10(10)1322-1326
- 「骨代謝研究の歴史 副甲状腺機能低下症の歴史」山本通子『Clinical Calcium』11(1)98-104
- 「20世紀の肺癌学を回顧する 外科療法 肺癌の診断治療はどこまで進歩してきたか」渡辺洋宇『肺癌』40(5)348

## 24 耳鼻咽喉科史

- 「嗅上皮の再生—永原義彦先生論文—」飯沼孝壽『JOHNS』16(5)796-799
- 「古典あれこれ 耳垢小見 8—中国と台湾の耳垢—」飯沼孝壽『JOHNS』16(1)118-120
- 「古典あれこれ 耳垢小見 9—日本各地の耳垢と方言(法水調査)—」飯沼孝壽『JOHNS』16(4)654-657
- 「古典あれこれ 耳垢小見 10—足立、松永から世界へ1—」飯沼孝壽『JOHNS』16(7)1060-1062
- 「古典あれこれ 耳垢小見 11(小結)—足立、松永から世界へ2—」飯沼孝壽『JOHNS』16(10)1636-1639

- 「Brunings と声帯内注入術」廣瀬肇『JOHNS』16(2)268-271  
「古典あれこれ 喉頭鏡の発明者は？」廣瀬肇『JOHNS』  
17(1)114-117  
「鏡下じ語 耳軟化症の手術ことはじめ」森満保『耳鼻咽喉  
科・頭頸部外科』72(9)602-603  
「内視鏡下鼻副鼻腔手術 ESS の歴史」山下公一『JOHNS』  
16(1)5-13

## 25 種痘史

- 「人類の恩人ジェンナーと浜田の頌徳碑」『浜田市ジェンナー  
顕彰会』1-20  
「平成8年度津山洋学資料館特別展報告 エドワード・ジェン  
ナー種痘実施200年記念 江戸時代種痘の普及と美作」  
『一滴』(5)61-77  
「種痘を開発したジェンナーとわが国で初めて種痘を行った  
中川五郎治」犬山征夫『JOHNS』16(11)1792-1798  
「天然痘は人から人へ伝染する病いである」深瀬泰旦『川崎市  
小児科医会会誌』(32)1-17

## 26 獣医学史

- 「獣医学教育6年制改革運動を顧みて」の補遺」今道友則『日  
本獣医学雑誌』(37)10-17  
「軍馬・軍犬・軍鳩について」小方孝次『日本獣医学雑誌』  
(37)45-46

- 「英国の口蹄疫防疫の回顧」緒方宗雄『日本獣医学雑誌』  
(37)43  
「明治時代に清国に派遣された馬医について」川西康夫『日本  
獣医学雑誌』(37)48-49  
「蹄鉄術の伝来とその後の発展および近代装蹄技術の歩み」  
黒川和雄『日本獣医学雑誌』(37)35-36  
「絵巻物にみる中世獣医史料(5)」中井薫『日本獣医学雑誌』  
(37)18-34  
「Veterinary の語源について」波岡茂郎『日本獣医学雑誌』  
(37)46-47  
「橋野鉄山使役牛と南部牛との関係」藤原弘『日本獣医学雑誌』  
(37)47-48  
「ブラシウス『動物比較解剖学』(一六八一年)の解剖図につ  
いて(抄)」松尾信一『日本医学雑誌』46(3)344-345  
「オランダ馬術家ケイズルの横死は將軍吉宗の依怙最良が誘  
因か」間庭秀信『日本獣医学雑誌』(37)41-42

## 27 書簡

- 「池田文書の研究(二十一)萩原三圭、岡玄卿、相磯槌の書簡  
について」池田文書研究会『日本医学雑誌』46(1)75-85  
「池田文書の研究(二十二、二十三)加藤弘之の書簡につ  
いて」池田文書研究会『日本医学雑誌』46(2,4)247-254,  
640-647  
「宇田川玄隨が江馬蘭齋に出した手紙(8)一寛政五年の玄隨と

蘭齋一」幸田正孝『津山洋学資料館友の会だより』(36)1-4  
「東京大学医学図書館呉文庫蔵、箕作阮甫の秋坪宛書簡」土井  
康弘『一滴』(8)155-115  
「ビュルツブルグとレントゲンの書簡 (抄)」中原泉『日本齒  
科医史學會々誌』23(3)204  
「高岡長崎家伝蔵書簡の研究 (二)」正橋剛二『北陸医史』  
21(1)17-22

## 28 書 誌 学

「ボードイン『内科新説』(神経系)より (完)」『呉秀三先生  
記念精神科医療史資料通信』(48)1-14  
「『傷寒論』弁脈法註解 (1)～(5)」秋葉哲生ほか『漢方の臨  
床』47(3, 4, 5, 6, 7)385-392, 596-603, 700-707, 886-895,  
963-970  
「Dental News Letter の書誌学、および当時の米国歯科医学  
の状況 (その1) (抄)」新井勉、森山徳長『日本歯科医史学  
會々誌』23(4)261-262  
「『赤水玄珠』の「方外還丹」について (抄)」猪飼祥夫『日本  
医史学雑誌』46(3)436-437  
「明治十一年刊『大日本帝国医療器械』(鋸屋松本市左衛門著)  
とそれに収載された医療器具千二十八点 (抄)」石田純郎、  
仲田永造『医譚』(76)38  
「ケルスス『医学論』(15)」石渡隆司、小林晶子『医事学研  
究』(15)123-157

「魯迅最後の主治医須藤五百三の著書『酒』(抄)」泉彪之助  
『医譚』(75)32  
「S・アルマン教授著『アヴィセンヌ』(抄)」泉彪之助『日本  
医史学雑誌』46(3)334-335  
「『城和撰諸州採葉記』磯野直秀『慾齋研究会だより』(89)2-7  
「山内裕雄氏寄贈医書目録考」岩崎鐵志『静岡県立大学短期大  
学部研究紀要』(13-1)13-30  
「医学史の窓より：五臓六腑内系図」岩治勇一 『福井県医師  
会だより』(466)46-47  
「医範提綱内象銅板圖(金沢大学医学部附属図書館蔵)につい  
て」岩治勇一 『北陸医史』21(1)44-47  
「宇田川興齋の『日間鎖事録』(弘化二年)」遠藤正治『一滴』  
(8)24-64  
「遣米・遣欧使節齋来の植物を記載した「草木図説遺稿」の発  
見」遠藤正治『慾齋研究会だより』(90)2-8  
「田代三喜の新発見の医書『本方加減秘集』の検討 (抄)」遠  
藤次郎、中村輝子『日本医史学雑誌』46(3)316-317  
「多紀元堅の傷寒論講義 (12-20) (存誠塾傷寒論記聞)」岡利  
幸『漢方の臨床』47(2-3, 5-8, 10-12)278-282, 393-397, 708-  
712, 896-898, 1056-1059, 1196-1119, 1492-1496, 1626-1631,  
1794-1799  
「R・ブレイク著「ヒトおよび動物の齒と構造と形成について  
の試験」(1801)の書誌学的研究 (抄)」春日芳彦、森山徳  
長、塩津二郎、本間孝『日本歯科医史學會々誌』23(4)258

- 「『蘭学事始附記』について」片桐一男『洋学史研究』(17)1-14
- 「ながはま」の書誌学的研究(1)(抄) 亀谷博昭、森山徳長、新井勉『日本歯科医史学会々誌』23(4)238
- 「東京大学史料編纂所蔵本「江夏家文書」「江夏書類」」川畑利久『鹿児島歴史研究』(5)28-67
- 「惟宗時俊の『続添要穴集』(抄)」小曾戸洋、篠原孝市、石野尚吾『日本医史学雑誌』46(3)356-357
- 「佐藤方定の発見した『大同類聚方(延喜本・寮本)』の上表文について(抄)」後藤志朗『神奈川医学会雑誌』27(1)162
- 「佐藤方定の発見した『大同聚方(延喜本・寮本)』の上表文について」後藤志朗『日本医史学雑誌』46(2)268-269
- 「最初期米国歯科医学雑誌の総括的研究(その2)1875年までに創刊された雑誌(抄)」塩津二郎、森山徳長、春日芳彦、亀谷博昭『日本歯科医史学会々誌』23(4)259-260
- 「杏雨書屋所蔵適塾門下生の書簡一足立寛、長瀬時衡、川本泰年一(抄)」芝哲夫『医譚』(76)40-41
- 「清水卯三郎著 日本大黃考(抄)」下総高次『日本歯科医史学会々誌』23(4)272
- 「古事記に梵語 いしたふや(抄)」杉本茂春『医譚』(76)39
- 「『医学天正記』について(一)」高島文一『啓迪』(18)17-19
- 「宇田川榕菴訳『百綱全譜』(1838-39年)」高橋輝和『一滴』(5)15-37
- 「華岡家文書(華岡家宛書翰類)」高橋均、児玉重隆『日本医史学雑誌』46(4)648-657

- 「吉益東洞『古書医言』と『医事古言』一両書の比較、延いては『古書医言』の文献学的特質について」館野正美『日本医史学雑誌』46(4)587-611
- 「田中彌性園蔵・オランダ外科三訳書の知見(抄)」田中祐尾『日本医史学雑誌』46(3)364-365
- 「山田業広著『金匱要略集注』訓読(16-19)」千葉古方漢方研究会『漢方の臨床』47(2,5,8,12)283-289,713-718,1209-1214,1800-1806
- 「医範提綱内象図—長崎家蔵本、その他の刊本について—」寺畑喜朔『医譚』(75)13-21
- 「長崎本『医範提綱内象図』をめぐって(抄)」寺畑喜朔『医譚』(76)40
- 「明治初期発行の日本医事雑誌について—その保存状況(抄)」寺畑喜朔『日本医史学雑誌』46(3)412-413
- 「『重訂解体新書』所引の『医学原始』について(抄)」陶恵寧『日本医史学雑誌』46(3)342-343
- 「レオナルド・ダ・ヴィンチ「女子解剖図」への新解釈」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』23(3)216-217
- 「レオナルド手稿の閲歴と解剖手稿(抄)」永田和弘『日本歯科医史学会々誌』23(4)257
- 「中野操文庫について」長門谷洋治『日本医史学雑誌』46(4)660-661
- 「古写本「長崎吉雄先生秘伝」について(抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』46(4)671-672

- 「『解體新書』緑版と黄版の書誌学的考察(抄)」中原泉、樋口輝雄『日本歯科医史学会々誌』23(4)256
- 「『馬醫版本の研究』の要旨」中村七三『日本獣医史学雑誌』(37)37-40
- 「『和剤局方』、「一切気」篇の検討」中村輝子、松崎亜衣子、遠藤次郎『漢方の臨床』47(11)1663-1670
- 「『傷寒論方法弁』を読む」長谷川弥人『漢方の臨床』47(10)1481-1484
- 「和辻家にあった「南涯家先生八勿銘」抄録(抄)」藤戸孝純『医譚』(76)39-40
- 「D.G.M シュレーパーの『健康の書』(一八三九)について(抄)」三井悦子『医譚』(76)39
- 「『史記』扁鵲倉公列伝研究史(上)(下)」宮川浩也『漢方の臨床』47(10,11)1463-1480,1632-1662
- 「『史記会注考証』と『扁鵲倉公列伝彙攷』の関係(抄)」宮川浩也『日本医史学雑誌』46(3)382-383
- 「『扁鵲倉公列伝割解』の研究—現伝本における書き入れおよび旧蔵者」宮川浩也『日本医史学雑誌』46(4)565-586
- 「Joseph Fox 著 Natural History of Human Teeth including (1803.1806) の書誌学的研究」森山徳長、春日芳彦、塩津二郎、本間孝『日本歯科医史学会々誌』23(3)186
- 「小島原泰民著実地必携内科攬要について(第2-3報)(抄)」山口秀紀、渋谷鉷、渋谷幸男、村木春長、谷津三雄『日本歯科医史学会々誌』23(3-4)208,282-283

- 「『康平傷寒論』の「傷寒例」読解(1-5)」山田光胤『漢方の臨床』47(7-11)945-948,1191-1195,1319-1324,1457-1462,1619-1625
- 「ポンペが松本良順に贈ったジッヘル著『眼病図譜』について」山之内如一、千葉弥幸『大分県眼科医会報』(85)3-10
- 「馬王堆三号漢墓出土の胎産書について(抄)」米倉亮『日本医史学雑誌』46(3)350-351
- 「大塚敬節による『類聚方広義』解釈(4-13)」渡辺賢治、渡辺洋井『漢方の臨床』47(1,3-5,7-12)128-135,377-384,554-561,688-699,949-962,1125-1140,1325-1332,1442-1456,1603-1618,1778-1793

## 29 小児科史

- 「日本の周産期医学を振り返る 未熟児網膜症の歴史」赤松洋『周産期医学』30(12)1665-1671
- 「児童虐待の防止に向けて 児童虐待の歴史的考察」池田由子『公衆衛生』64(5)308-312
- 「日本の周産期医学を振り返る 新生児薬物療法の歴史」大西鐘壽、伊藤進、磯部建一『周産期医学』30(12)1703-1712
- 「子育て今昔物語 共働き子育て」加藤翠『チャイルドヘルス』3(1)22-26
- 「子育て今昔物語 夜泣き」加藤翠『チャイルドヘルス』3(2)115-119
- 「子育て今昔物語 ふたご(多胎児)」加藤翠『チャイルド

- ヘルス』3(9)701-705
- 「子育て今昔物語 スポック博士の育児書7訂までの変遷おむつ」加藤翠『チャイルドヘルス』3(10)787-791
- 「親の養育態度測定方法 PBI研究の進展 PBIの発生と養育態度尺度の歴史」竹内美香『精神科診療学』10(4)375-398
- 「新生児難聴の発見と対応 新生児難聴のスクリーニングの歴史」田中美郷『JOHNS』16(11)1671-1673
- 「19世紀のイギリスの子どもの状況—ナイチンゲールの視点から—(抄)」温忍『神奈川医学会雑誌』27(2)322
- 「新生児医療の歴史 新生児医療事始め」馬場一雄『Neonatal Care』13(11)1070-1075
- 「新生児医療の歴史 体温管理と保育器」馬場一雄『Neonatal Care』13(13)1421-1427
- 「新生児医療の歴史 日本における保育器の変遷」馬場一雄『Neonatal Care』13(14)1505-1508
- 「予防接種Q&A 予防接種の歴史」平山宗宏『小児内科』32(10)1414-1418
- 「母性・父性から「育児性」へ 現代の母親はダメになったのか 歴史からの考察」広田照幸『助産婦雑誌』54(9)754-758
- 「病児保育 本邦における病児保育の歴史」保坂智子『外来小児科』3(2)299-303
- 「育児三年一名子供を健全に育つる法 (抄)」宮本康子、加來

- 洋子、渋谷敏、谷津三雄『日本歯科医学学会々誌』23(4)286
- 「小児局所麻酔における功罪 乳幼児脊椎麻酔を巡って」山下正夫『ペインクリニック』21(2)215-220

### 30 神経学史

- 「脳卒中か脳中风か 「風」の病理学」朝倉哲彦『脳神経外科』28(10)919-923
- 「パーキンソニズムとウイルス 脳炎後パーキンソニズム 歴史的考察」安藤一也『神経内科』52(4)361-368
- 「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 下垂体前葉機能に対する視床下部支配についての神経内分泌学の発展」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』7(4)425-433
- 「生殖内分泌学を築いた巨匠達の群像 脳下垂体の生殖内分泌学 特にコナドトロピンの化学と定量法の研究の歴史(前・後篇)」五十嵐正雄『HORMONE FRONTIER IN GYNECOLOGY』7(1-2)94-100, 199-205
- 「【心的外傷後ストレス障害(PTSD)をめぐって】米国における児童期の性的虐待被害研究とPTSD歴史と現況」石井朝子、小西聖子『臨床精神医学』29(1)23-27
- 「シャルコーの頭痛学講義」岩田誠『東京女子医科大学雑誌』70(臨増)194-198
- 「再生医学と脳神経外科 パーキンソン病の治療の歴史と再生医学」大本堯史『薬の知識』51(7)191-194

- 「目から学ぶ脳波 神経内科疾患と脳波 周期性はパターン研究の歴史」黒岩義之『臨床脳波』42(1)42-47
- 「【神経症再考】 神経概念の歴史の変遷」高橋徹『臨床精神医学』29(2)121-125
- 「原典・古典の紹介 病態失認」古川哲雄『神経内科』53(1)69-72
- 「原典・古典の紹介 広場恐怖」古川哲雄『神経内科』52(3)344-348
- 「原典・古典の紹介 自己幻視」古川哲雄『神経内科』53(6)566-571
- 「原著を探る Wernicke 失語」北條敬『Clinical Neuroscience』18(12)1462-1463
- 「日本における神経病理学の歴史 (英文)」松下正明『NEUROPATHOLOGY』20(Suppl.)2-6
- 「【心的外傷後ストレス障害 (PTSD) をめぐって】 PTSD の歴史的展望と病態」森山成あきら『臨床精神医学』29(1)5-10
- 「γ-アミノ酪酸 (GABA) 発見から抑制性神経伝達物質としての確立まで」渡辺正仁、神原清人、前村憲太郎、早崎華、玉山卓己、Wang Fangyu、久野雅人『大阪医科大学雑誌』59(3)1-6

### 31 診断学史

- 「気管支学の歴史 生検手技及び気管支肺胞洗浄の新旧 (英

文)」Leoncini Benito『日本気管食道科学会会報』51(2)83-89

「日本の周産期医学を振り返る 超音波診断の歴史」竹内久彌『周産期医学』30(12)1585-1590

「細胞診自動化 歴史と実用化にむけて」田中昇『日本臨床細胞学会雑誌』39(Suppl.1)61

「心エコーの歴史 心エコー法の創始時代」仁村泰治『心エコー』1(1)96-99

「心エコーの歴史 超音波ドプラ診断法の最初の10年」仁村泰治『心エコー』1(2)200-204

「心エコーの歴史 心エコー法のモノクロ時代—心臓診断法の革命」仁村泰治『心エコー』1(4)398-403

「心エコーの歴史 超音波ドプラ診断法の発展 連続波ドプラ法とパルス・ドプラ法」仁村泰治『心エコー』1(5)503-509

「性の分化と性成熟異常 分子メカニズムから臨床へ 先天性副腎過形成症スクリーニングの発展の歴史と展望」藤枝憲二『Pharma Medica』18(10)77-84

「歩みきし集団検診の道に佇み、これからのを思う」松浦啓一『日本消化器集団検診学会雑誌』38(6)709-714

### 32 整形外科史

「レーザー椎間板徐圧術 レーザー椎間板徐圧術 その歴史と現況」小野村敏信『整形外科最小侵襲手術ジャーナル』

- (15)2-8
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初頭へ イギリスの整形外科 (5-8)」蒲原宏『整形外科看護』5(1-4)94-99, 192-195, 286-289, 388-391
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へ ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 ベルリン学派の成立 (1)」蒲原宏『整形外科看護』5(5)482-486
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へ ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 ベルリン学派の成立 (2-3)」蒲原宏『整形外科看護』5(7-8)860-863, 962-965
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へ ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 ウイーン学派の成立 (1-4)」蒲原宏『整形外科看護』5(9-12)1056-1060, 1154-1156, 1250-1254, 1356-1357
- 「整形外科の歴史 19世紀後期から20世紀初期へ ドイツ語圏諸国の整形外科の近代化 オーストリアでの整形外科的業績 (1)」蒲原宏『整形外科看護』5(14)1740-1741
- 「オスカー・フルピウス (一八六七—一九三六) と日本の草創期整形外科医達 (抄)」蒲原宏『日本医史学雑誌』46(3)340-341
- 「人口肘関節の現況 その術後成績と新しい展開 人口肘関節の歴史の変遷」工藤洋『整形・災害外科』43(7)771-775
- 「膝関節に名前を残す二人のフランス人—Gerdky と Segond (抄)」小林晶『日本医史学雑誌』46(3)380-381

- 「[頸椎前方固定術における人工材料使用の長期予後] セラミック使用の歴史」小山素磨『脊椎脊髄ジャーナル』13(1)33-37
- 「骨代謝研究の歴史 骨軟化症研究の歴史」田中弘之『Clinical Calcium』10(11)1501-1503
- 「急性大動脈解離の外科 過去25年間に私たちは何を学んだか? (英文) (抄)」Bachet Jean『日本心臓血管外科学会雑誌』29(Suppl.)5
- 「[手関節固定術] 手関節固定術の歴史」堀井恵美子『Orthopaedics』13(2)1-7

### 33 精神医学史

- 「一九九八年精神科医療史関連文献目録」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(50)29-33
- 「一九九九年精神科医療史関連文献目録」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(50)34-39
- 「板原和子・桑原治雄「江戸時代後期における精神障害者の処遇(1)―(3)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(49-51)1-10, 1-11, 1-10
- 「衛生局保健衛生調査室「各国ニ於ケル精神病者保護法竝其ノ施設概要」(2)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(48, 49)21-30, 18-29
- 「川原汎『精神病学提綱』(目次)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)21-29

- 「小池正直『軍陣衛生学』中「癲狂院」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(51)11-16
- 「埼玉県保健調査室『監置精神病患者発病原因調査報告』(1-完結)』『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(48-51)31-38,30-36,25-28,30-39
- 「フォイヒテルスレーベン、大西直三郎訳述『精神養生』(2)』『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(48,49)15-20,11-17
- 「江戸時代後期における精神障害者の処遇(2)」板原和子、桑原治雄『社会問題研究』49(2)183-200
- 「美しいラインナウ病院とスイス精神科医療の歴史」伊藤賀永、武井麻子『精神看護』3(5)62-67
- 「サイコオンコロジーの歴史、現状、課題」内富庸介『臨床精神薬理』3(7)623-630
- 「ヒステリー概念の歴史」江口重幸『精神医学研究所業績集』(36)64-67
- 「日本の精神科医療史ノート(7)-(12)」岡田靖雄『最新精神医学』5(1-6)97-102,199-203,311-316,415-419,507-512,625-630
- 「歴史からみた日本の精神科医療の問題点」岡田靖雄『精神医療史シリーズ』11-47
- 「William Cullen にみる Delirium の記載について(抄)」小曾戸明子『日本医史学雑誌』46(3)346-347
- 「精神科看護の20世紀 20世紀の精神医学、精神医療をふり

- かえる」風祭元『精神科看護』(99)8-12
- 「昭和44年頃から始まったある地域での精神衛生活動について(2)-クライシス(危機)介入を行った事例の20年後の状況から-」桑原治雄、朝井忠、東英代『社会問題研究』49(2)225-305
- 「同性愛と創造性についての歴史的考察」作田明『日本病跡学雑誌』(60)11-21
- 「軽症うつ病 抗うつ薬の歴史 三環系うつ薬からSSRIまで」竹内龍雄『治療学』34(12)1281-1284
- 「精神科看護の20世紀 「開かれている病棟」をふりかえって」壇原暢『精神科看護』(99)24-28
- 「人格構造論(2) 人格研究の史的展望」苗村育郎『CAMPUS HEALTH』36(2)135-142
- 「精神医学の歴史と現実と課題(日本)」西園昌久『九州神経精神医学』46(3-4)209-210
- 「精神障害者リハビリテーション これまでの100年」蜂矢英彦『精神医学研究所業績集』(36)6-13
- 「日本の近代精神医療史」昼田源四郎『精神神経学雑誌』102(9)754-758
- 「『精神養生』(3、完)」フォイヒテルスレーベン、大西直三郎(訳述)『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(50)12-24
- 「人格障害 人格障害とは何か 人格研究の歴史 カントからクロニンジャーまで」福島章『こころの科学』(93)10-15
- 「ハンガリーの精神分析の歴史と現在」Maerta Fueleop『精

神分析研究』44(1)101-121

「治療の歴史 うつ病の歴史 非薬物療法を中心に」三浦英樹、太田龍朗『治療学』34(12)1361-1364

「【分裂病治療の現在】 自然治癒力と分裂病治療 歴史に学ぶ病気の見方と治療の考え方」八木剛平『こころの科学』(90)36-44

「異文化のなかの精神療法 精神医学史における自然治癒力」八木剛平、田辺英『精神療法』26(5)430-440

「いわゆる非定型精神病の経過と転帰 わが国における非定型精神病概念の歴史」山岸洋『精神科治療学』15(5)467-471

「今日の精神科治療 2000 精神療法 箱庭療法 その歴史と発展」山中康裕『臨床精神医学』2000(増刊)256-261

### 35 西洋医学史

「スウェーデンの高齢者福祉 高福祉国スウェーデンに至る歴史的背景」安保雅博、延原健二、Borg Joergen、米本恭三、宮野佐年『Journal of Clinical Rehabilitation』9(4)408-412

「近代検査制度の導入と英国「伝染病予防法」—英国海軍医 G. B. ニュートンを中心に—」大川由美『日本歴史』(623)71-87

「医学の歴史を訪ねて 8 薬草入りのリキュールとその産地」大村敏郎『けんさ』29(3)17-21

「フランス紀行◆その三 巡礼の路にホスピスの跡を訪ねて」木村明『ミクロスコピア』17(2)118-122

「フランス紀行◆その四 中世末期を象徴するボヌのオテル・デュール」木村明『ミクロスコピア』17(4)298-300

「英国医史における学と食—法制的考察(その二)(抄)」栗本宗治『日本医史学雑誌』46(3)374-375

「欧米における自然医学の歴史 ヒポクラテス医学」中島文保『マニピュレーション』15(1,3,4)106-113,94-103,67-73

「医学の歴史を巡るイタリアの旅に参加して」藤澤正清、他『日本病院会雑誌』47(2)296-305

「医学の歴史を訪ねて—イタリア旅行①ミラノ Milano」星和夫『けんさ』30(2)19-22

「パヴィア大学博物館」星和夫『STETHOSCOPE』(162)5-10

「ロンドン・ジェネラル・インスティテューション設立の理念(抄)」柳澤波香『日本医史学雑誌』46(3)338-339

### 36 生化学史

「メタロチオネイン研究の歴史と今後の展望」永沼章『Bio-medical Research on Trace Elements』11(2)99-103

「骨代謝研究の歴史 カルシウム研究の歴史」森井浩世『Clinical Calcium』10(6)714-717

### 37 生理学史

「脳血流量 (CBF) 測定の歴史と発展 (英文)」Obrist Walter

D. 『The Keio Journal of Medicine』 49(Suppl.)1-3  
 「私の研究エポック 我が国における脳神経生理学の歩み  
 黎明期から発展期」河村洋二郎『脳』21(2)265-270  
 「臍機能解明の歴史」佐藤裕『肝と臍』21(5)415-423  
 「『医範提綱』にみる生理機能—「重訂・解体新書」と比較して」  
 長与健夫『日本医史学雑誌』46(2)177-191

### 38 地方史

「幕末期「郷医」の後継者教育の一例—門屋養安の日記から  
 —」昉昭三『北陸医史』21(1)31-43  
 「大分県と近代医学 福沢諭吉と医学」井上正『The  
 Japanese Journal of THORACIC AND CARDIOVAS-  
 CULAR SURGERY』48(増刊)138  
 「由比ヶ浜南地区よりの中世日本人骸骨における刀による傷  
 害(英文)(抄)」Oku C., Hirata K.『Anthropological  
 Science』108(1)128  
 「大分県と近代医学 外科医大江雲沢と中津藩蘭学」川嶌真  
 人『The Japanese Journal of THORACIC AND CAR-  
 DIOVASCULAR SURGERY』48(増刊)137  
 「越後・佐渡の英学」蒲原宏『第37回日本英史学会全国大会』  
 1-35  
 「幕末維新期の尾張の学問と医学」岸野俊彦『名古屋医史談話  
 会会報』(26)1-7  
 「山形県の庄内の蘭方医たち 大瀬欽哉の「庄内の蘭医につ

いて」を軸にして」佐藤允男『北陸医史』21(1)23-30  
 「占領期における地方病撲滅への山梨県の歩み(第一報)(抄)」  
 佐藤公美子『日本医史学雑誌』46(3)428-429  
 「岐阜の蘭医学者 その業績と思想」杉立義一『医譚』(76)  
 74-66  
 「農村医学の形成と発展—佐久病院における地域医療活動の  
 実践から」杉山章子『日本医史学雑誌』46(4)507-551  
 「皮膚科医学史 横浜における梅毒とその治療史」中西淳朗  
 『皮膚病診療』22(4-5)392-396, 492-496  
 「弘前藩医松野因策とその系譜」松木明知『弘前医学』51(3-  
 4)117-130  
 「金沢区の医学史 とくに明治初期の三人の村医と死亡診断  
 書について」松本龍二『共済医報』49(3)267-268  
 「幕末福岡藩における薬用魚肝油の製造とその利用—武谷家  
 旧蔵蘭学書簡を中心に—」村田忠一『科学史研究』39(213)  
 37-40

### 39 治療史

「Wilms 腫瘍歴史的展望と最近の治療(英文)」HARTMAN,  
 Gary E.『日本小児外科学会雑誌』36(1)42-47  
 「人工心臓開発の歴史と21世紀の展望 特に完全人工心臓に  
 ついて」渥美和彦『人工臓器』29(3)5  
 「治療の歴史 血管の再生医工学」筏義人『治療学』34(4)  
 455-458

- 「輸液栄養の歴史 現代栄養療法の軌跡」岩佐幹恵『静脈・経腸栄養』15(4)3-9
- 「治療学の歴史 フグ中毒の治療」遠藤重厚、葛西健『治療学』34(7)799-801
- 「慢性腎不全の全て 腎移植 腎移植の歴史」太田和夫『腎と透析』49(増刊)406-410
- 「治療の歴史  $\beta$ ラクタマーゼ阻害薬 (クラブラン酸)」大野章『治療学』34(3)339-342
- 「治療学の歴史 悪性リンパ腫に使用される新規抗腫瘍薬の開発」小椋美知則『治療学』34(8)919-929
- 「心不全治療薬の歴史 開発の現状と臨床試験の問題点」加藤和三『臨床薬理』31(4)633-638
- 「音楽療法の歴史と展望」久保木富房『日本バイオミュージック学会誌』18(1-2)18,172-181
- 「労働生理学の100年をふりかえって」小木和孝『労働の科学』55(10)636-639
- 「ダイアライザ ダイアライザ開発の歴史」越川昭三『臨床透析』16(6)843-856
- 「【うつ病の新しい治療薬 SNRI (セロトニン・ノルアドレナリン再取り込み阻害薬)】抗うつ薬の開発の歴史」小山司『医薬ジャーナル』36(2)707-710
- 「日本の精神病院における音楽療法への歩み 明治時代」幸絵美加『精神医学研究所業績集』(36)140-149
- 「治療の歴史 経腸栄養剤の変遷」佐藤信昭、須田武保、酒井靖夫、畠山勝義『治療学』34(2)239-241
- 「治療の歴史 ジギタリスを巡る最近の話題」篠山重威『治療学』34(10)1157-1160
- 「コルプの回転ドラム式人工腎臓 日本最初の製品化された人工腎臓使用の思い出」白井洸『大塚薬報』(556)42-45
- 「人工腎臓 (血液透析) の歴史」白井洸『医科器械学』70(9)438-443
- 「人工腎臓 (血液透析) の歴史 (抄)」白井洸『医科器械学』70(4)184
- 「透析医療 透析液の歴史と展望」鈴木正司『透析フロンティア』10(Suppl.)28
- 「梅毒の薫葉療法について (抄)」中西淳朗『神奈川医学会雑誌』27(1)162
- 「横浜における梅毒とその治療史 1-5」中西淳朗『皮膚病診療』22(1-5)92-94,208-210,298-302,392-396,492-496
- 「徳川期東日本における駆梅毒薬方について (抄)」中西淳朗『日本医史学雑誌』46(3)400-401
- 「梅毒の薫葉療法について」中西淳朗『日本医史学雑誌』46(2)267-268
- 「アメリカのICPに聞く 感染管理の歴史と感染管理士 (ICP) の発展」Nakahara Setsuko『INFECTION CONTROL』9(1)6-8
- 「(私説) 関西家族療法小史」檜林理一郎『家族療法研究』17(3)261-269

「医学の20世紀 糖尿病治療の変遷」原田尚『内科』85(4) 781-784

「透析医療 透析液の歴史と将来展望」平澤由平『透析フロンティア』10(Suppl.)27

「我が国における瀉血(刺絡)の歴史(抄)」藤倉一郎『日本医史学雑誌』46(3)388-389

「治療の歴史 膠原病に対する免疫抑制薬療法の歴史」松川吉博、澤田滋正『治療学』34(11)1261-1263

「温故知新 脚気治療の歴史」山下政三『臨床成人病』30(5) 662

「温故知新 脚気治療の歴史(抄)」山下政三『日本成人病学会会誌』2625-26

「乳癌の画像診断と放射線治療の全て 放射線治療 乳癌放射線治療の歴史」山下孝『臨床放射線』45(11)1335-1341

「心筋保護液 開発の歴史と現状」山本文雄『Journal of Japanese Society of Hospital Pharmacists』36(9)1205-1209

「透析医療 透析液の歴史と将来展望」吉田和美、村山清巳『透析フロンティア』10(Suppl.)36

「治療の歴史 ミノファーゲンシー」和気健二郎『治療学』34(9)1043-1049

#### 40 伝 記

「循環器疾患研究を支えた人々 青山進午」渡辺務『Cardiac

Practice』11(2)218-220

「医療ソーシャルワークのルーツを探る—浅賀ふさの生涯とその業績—(抄)」三澤光子『神奈川医学会雑誌』27(2)322-323

「先達医家の肖像 <88> 尼子富士郎(1893-1967)」酒井シヅ『Medical Digest』(364)巻末

「伊古田純道の帝王切開術学習について(抄)」石原力『日本医史学雑誌』46(3)390-391

「伊藤圭介 明治六年の東京生活」岩崎鐵志『伊藤圭介日記』(6)141-162

「先達医家の肖像 <91> 伊東俊夫(1904-1991)」酒井シヅ『Medical Digest』(367)巻末

「循環器疾患研究を支えた人々 伊藤良雄」永野充『Cardiac Practice』11(1)93-95

「医療史回り舞台 井伊大老の盲管銃創」篠田達明『整形・災害外科』43(9)1028

「人と時代 解剖学の父アンドレアス・ヴェサリウス その二 その生涯と業績」坂井建雄『ミクروسコピア』17(1)24-27

「人と時代 解剖学の父アンドレアス・ヴェサリウス その三 パドヴァに来るまでのヴェサリウス」坂井建雄『ミクロスコピア』17(2)111-115

「人と時代 解剖学の父アンドレアス・ヴェサリウス その四 ファブリカはどのように作られたか」坂井建雄『ミクロスコピア』17(3)204-208

「人と時代 解剖学の父アンドレアス・ヴェサリウス その五  
ファブリカの出版とその反響」坂井建雄『ミクログリア』  
17(4)294-297

「ヴィクトリア女王と麻酔および関連事項 (抄)」金山利吉、  
京田直人、見崎徹『日本歯科医史学会々誌』23(4)254-255

「来日フランス人医師ヴィダールの生涯—フランス側からの  
報告 (抄)」清水陽人、蒲原宏、ガストン・ティシニエ、オ  
ーギュスト・アルマンゴー『日本医史学雑誌』46(3)376-377

「中国歴代の名医肖像伝記 呉 尚先(ウー シャンシェン)」  
『漢方医薬新聞』(268)5

「精神医学における日本の業績 内村祐之の業績 ヨーロッ  
パ・アカデミック精神医学を正確かつ周到にわが国で育成  
したこと」原田憲一『精神医学』42(12)1293-1298

「新発田溝口藩普請奉行定雇大工梅之又亟の家系の研究 (そ  
の2) 新西洋歯科医・佐藤梅次郎の足跡」佐藤泰彦、佐藤禮  
『日本歯科医史学会々誌』23(3)156-165

「原病学各論 亞爾茂聯斯の講義録 (10-12)」松陰宏、近藤陽  
一、松陰崇、松陰金子『三重県立看護大学紀要』415-25,  
27-38, 39-50

「断腸亭永井荷風の主治医 大石貞夫 その医学業績に関す  
る一考察」加藤賢朗、加畑知秀『日本医事新報』(3996)39-  
43

「大江雲沢と中津医学校について (抄)」川畠真人『日本医史  
学雑誌』46(3)368-369

「日本への精神分析の導入における大槻憲二の役割 雑誌「精  
神分析」を中心に」安齊順子『日本心理学会 64 回発表論文  
集』3

「近代衛生行政を築いた人達 工場法の制定に官職一生を捧  
げた農商務省第四代工務局長 岡 実」乾修然『産業医学  
ジャーナル』23(2)62-66

「日本史空想診療録 5 勝小吉」卜部典子『医道の日本』  
59(2)210-211

「勝沼精造先生の嘆息 杉浦重剛撰文「向阪兌之墓」塩澤全  
司、高橋昭『山梨医科大学紀要』1710-19

「寺畑喜朔「神経解剖学者上坂熊勝について」(平成十年本学  
会秋季大会発表)への追加 (抄)」小田皓二『医譚』(75)32-  
33

「高橋昭「川原汎先生—本邦神経内科学の創始者—」『呉秀  
三先生記念精神科医療史資料通信』(51)17-20

「先達医家の肖像 <92> Samuel D Gross (1805-1884)」酒井  
シヅ『Medical Digest』(368)巻末

「日本の脳研究者たち 後藤幾生 (1931-1994)」吉良潤一  
『Brain Medical』12(1)94-96

「近代衛生行政を築いた人達 国家衛生原理を構築した第三  
代衛生局長 後藤新平」乾修然『産業医学ジャーナル』  
23(1)96-99

「古典あれこれ 聴覚を失った後も多くの名作を描き続けた  
フランシスコ・ゴヤの生涯」犬山征夫『JOHNS』16(6)924-

- 「博物館散歩 アルプスの山なかの展示館—カミロ・ゴルジ文化協同組合—」高垣玄吉郎『ミクロスコピア』17(1)6-13
- 「21世紀に向けて、耳鼻咽喉科医療は 慢性中耳炎 最近の動向 コルティの生涯と業績」萬年甫『耳鼻と臨床』46(1)59
- 「『池田錦橋入門制戒禁約書』と京都の痘科医佐井聞庵について(抄)」長谷川一夫『日本医史学雑誌』46(3)430-431
- 「佐伯理一郎と京都(十一)『京都看病婦学校五十年史』とその周辺(続)」長門谷洋治『啓迪』(18)31-40
- 「シーボルトと鍼灸 1826年、シーボルト、石坂宗哲と会う」森秀太郎『鍼灸 OSAKA』15(3)271-273
- 「Thomas Sydenham (1575-1689)」栗本宗治『医譚』(76)37
- 「司馬凌海 生涯と遺跡についての若干の知見(抄)」高橋昭『日本医史学雑誌』46(3)318-319
- 「中国歴代の名医肖像伝記 薛 生白(シュエ ションパイ)」『漢方医薬新聞』(275)7
- 「寿徳院玄由の閲歴について」西村義明『日本医史学雑誌』46(2)119-153
- 「日韓医学交流史—杉原徳行の業績と評価(抄)」渡辺晴香、金善珉、丁宗鉄『日本医史学雑誌』46(3)404-405
- 「関場不二彦の医史学研究の端緒および『西医学東漸史話』著述の動機について」秦温信、松田伸一、関谷千尋、佐野文男、島田保久、吉田信、鮫島夏樹『北辰』(3)25-31

- 「ウィーンにゼンメルワイスの事跡を訪ねて」佐藤裕『いずみ』47(3)16-17
- 「お玉が池種痘所の設立に参加した添田玄春(抄)」深瀬泰且『日本医史学雑誌』46(3)330-331
- 「日本史空想診療録 8 平清盛」卜部典子『医道の日本』59(5)250-251
- 「レオナルド・ダ・ヴィンチの解剖図」酒井シヅ『Mamma』(37)表2
- 「先達医家の肖像(93) 高橋信次(1912-1985)」酒井シヅ『Medical Digest』(369)巻末
- 「日本で最初の精神病専門医高松彝と全漢文のその著書『精神病学綱要』(抄)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』46(3)362-363
- 「高嶺徳明(魏士哲)のこゝろ」難波雄哉『形成外科』43(6)599-606
- 「日本史空想診療録 7 伊達政宗」卜部典子『医道の日本』59(4)218-219
- 「名誉会員田中助一先生を悼む」杉立義一『日本医史学雑誌』46(1)99-101
- 「中国歴代の名医肖像伝記 唐 宗海(タン ソンハイ)」『漢方医薬新聞』(272)7
- 「丹波親康と「月次和漢会」」戸出一郎、佐藤恭道、別部智司、雨宮義弘『日本歯科医史学会々誌』23(3)192-193
- 「暉峻義等と医学史研究—奨進医会および日本医史学会との

- 「かわりの中軸に」岡田靖雄『日本医史学雑誌』46(1)57-73
- 「永井潜一断種法上の人びと(その三)」岡田靖雄『日本医史学雑誌』46(4)672-675
- 「医療史回り舞台 中江藤樹の気管支喘息」篠田達明『整形・災害外科』43(8)922
- 「中神琴溪の刺絡(抄)」友部和弘『日本医史学雑誌』46(3)386-387
- 「麻布獣医学園中興の祖『中村道三郎』」芦田浄美『日本獣医学雑誌』(37)44-45
- 「秋山 半井澄(1847-1898)一京都府療病院長・医学校長・医師会創始者(抄)」藤田俊夫、半井英江『日本医史学雑誌』46(3)442-443
- 「近代日本獣医学術交流史の鍵を握る故成松静雄教授の消息」和栗秀一、劉波『日本獣医学雑誌』(37)1-9
- 「スポーツ歯科医人伝 第1報 西野恭正先生」石川慎士、片山幸太郎、糸賀裕『日本歯科医史学会々誌』23(4)303-313
- 「野口英世の彫像の研究(その1、2)」水川秀海『日本歯科医史学会々誌』23(2)127-133,134-139
- 「ウィリアム・ハーヴィの方法論—論推の正当化をめぐる(抄)」澤井直『日本医史学雑誌』46(3)348-349
- 「橋本病発見者 橋本策(はかる)補遺(抄)」佐藤裕『日本医史学雑誌』46(3)392-393
- 「医学講座(教育) 華岡青洲自筆「丸散便覧序」考 現代語訳及び註解」高橋均、松村巧『近畿大学医学雑誌』25(1)

- 161-164
- 「華岡青洲自筆序 現代語訳及び註解」高橋均、福西健至、北岸英樹、植嶋利文、松島知秀、大澤英寿、金井透、芋縄啓史、坂田育弘、松村巧『近畿大学医学雑誌』25(1)11 A
- 「華岡青洲自筆序(抄)」高橋均『日本医史学雑誌』46(3)328-329
- 「華岡青洲の「乳巖治験録」の新研究—呉秀三の復刻文に対する疑義(抄)」松木明知『日本医史学雑誌』46(3)326-327
- 「華岡青洲の系譜的研究—和歌山県海南市の川端家、柳川家の調査から」松木明知『日本医史学雑誌』46(1)47-55
- 「紀州名手市場妹背佐次兵衛家の系譜と瑩域—華岡青洲の妻加恵に関連して—」松木明知『日本医史学雑誌』46(2)211-224
- 「「原田良種先生と原田会に関して」(抄)」湯浅高行、藤野瑛男、屋代正幸『日本歯科医史学会々誌』23(4)253
- 「原南陽先生の詩文集を読む」長谷川弥人『漢方の臨床』47(2)276-277
- 「医療と歴史との接点を求めて アンプロアズ・パレの画像と言葉」大村敏郎『医薬の門』40(1)2-5
- 「ラヴァル賛歌—アンプロアズ・パレのふるさと—」大村敏郎『けんさ』30(1)21-24
- 「古典あれこれ ヒポクラテスの生地コス島を訪ねて」犬山征夫『JOHNS』16(3)506-512
- 「蘭方医学の先駆者の一人、百武萬里—博多で開業」奥村武

- 『福岡市ふくおか歴史散歩』693-94
- 「Guilhelmus Fabricius Hildanus (1560-1624) と乳癌」酒井シヅ『Mamma』(35)表2
- 「Billroth 教授の教育」小川道雄『日本消化器外科学会雑誌』33(7)784
- 「中国歴代の名医肖像伝記 伏羲氏(フー シイシ)」『漢方医薬新聞』(278)8
- 「中国歴代の名医肖像伝記 黄帝(ファン テイ)」『漢方医薬新聞』(277)5
- 「フーフェラントとその周辺」鈴木重統『北辰』(3)11-15
- 「中国歴代の名医肖像伝記 費伯雄(フェイ バイシヨン)」『漢方医薬新聞』(270)7
- 「日本史空想診療録 6 福沢諭吉」卜部典子『医道の日本』59(3)144-145
- 「江戸期本草家の北陸への関心(四)一藤沢光周と『奇草小図』について(抄)」正橋剛二『日本医史学雑誌』46(3)332-333
- 「麴町区内幸町における藤島太麻夫新築治療所の詳細(抄)」山岸東太郎、森山徳長、長谷川正康、石川達也『日本歯科医史学会々誌』23(4)284
- 「先達医家の肖像<89>Thomas Lauder Brunton(1844-1916)」酒井シヅ『Medical Digest』(365)巻末
- 「原著を探る Broca 失語」杉下守弘『Clinical Neuroscience』18(8)974-975
- 「ミューズの病跡学 ベートーベンの聴力障害」早川智『産科

- と婦人科』67(9)1203-1207
- 「カスパー・ポーアン "Theatrum Anatomicum" について (I)一初版(1605)と第二版(1621)の序文の比較検討(抄)」月澤美代子『日本医史学雑誌』46(3)378-379
- 「医者にならなかった「前島密」羽生順一『STETHOSCOPE』(163)2-4
- 「日本史空想診療録 10 松尾芭蕉」卜部典子『医道の日本』59(7)214-215
- 「弘前藩医松野因策とその系譜 補遺」松木明知『弘前医学』52(1)10-16
- 「検梅医・松山不苦庵の足跡」中西淳朗『日本医史学雑誌』46(4)669-671
- 「漏れた先哲書を読む 新編 道三『師語録』(13)」小山誠次『漢方研究』(341)21-23
- 「漏れた先哲書を読む 新編 道三『師語録』『師語録』の成立について(上)」小山誠次『漢方研究』(343)249-251
- 「精神医学における日本の業績 満田久敏の業績」堺俊明『精神医学』42(11)1217-1223
- 「江戸に生きた水野南北と医療」大浦純孝『総合医学』23(11)88-90
- 「箕作阮甫生誕200周年記念 箕作阮甫自筆資料展」『一滴』(8)98-114
- 「日本史空想診療録 11 明恵」卜部典子『医道の日本』59(10)188-189

- 「先達医家の肖像〈90〉Giobanni Battista Morgagni (1682-1771)」酒井シヅ『Medical Digest』(366)巻末
- 「森鷗外「甘瞑の説」—「生命の質」への一視座」高橋正夫『日本医史学雑誌』46(4)553-563
- 「森道伯先生の一貫堂医学(抄)」矢数圭堂『漢方医薬新聞』(265)6
- 「日本における核医学の先駆者・森信胤(抄)」小田皓二『日本医史学雑誌』46(3)432-433
- 「小倉第12師団軍医部長 森林太郎医学博士」吉田博『防衛衛生』47(12)379-390
- 「終末の刻を支える 文学にみる日本人の死生観 生命の起源と進化の歴史に根ざす死生観 病に冒された生命科学者・柳澤桂子」酒井忠昭『ターミナルケア』10(増刊)128-130
- 「岡山で蘭方を教えた吉雄永清(抄)」中山沃『日本医史学雑誌』46(3)320-321
- 「日本史空想診療録 9 吉田兼好」卜部典子『医道の日本』59(6)222-223
- 「吉田顕三が導入した血球算定の検証(抄)」川端邦宏、小林恵美、井内香文『医学検査』49(4)738
- 「ラ・メトリーとモンペリエ学派との間—ディドロの定式「物質の一般的特性としての感性」とその周辺—」中川久定『啓迪』(18)1-16
- 「古典あれこれ 酸素の名付け親であり、呼吸生理の発見者

でもあるラヴォアジエに対する不当な処刑」犬山征夫『JOHNS』16(9)1496-1504

- 「レーウエンフック (Antonj van Leeuwenhock) の顕微鏡」酒井シヅ(解説)『CLINICIAN』47(487)4-7
- 「和田東郭医学と21世紀 五臓の病的な熱の処理をとおして(抄)」細野八郎『漢方医薬新聞』(265)2
- 「和田東郭の臨床」松田邦夫『日本東洋医学雑誌』51(3)347-357
- 「和田東郭の臨床(抄)」松田邦夫『漢方医薬新聞』(265)2-3
- 「中国歴代の名医肖像伝記 王履(ワンリイ)」『漢方医薬新聞』(274)7

#### 41 伝記(双)

- 「浅田宗伯と黄遵憲 近世における日中知識人の交流」松岡榮志『日本東洋医学雑誌』50(4)525-532
- 「内臓体壁反射について 石川教授父子の功績」多留淳文『日本東洋医学雑誌』50(6)60
- 「内臓体壁反射について 石川教授父子の功績(抄)」多留淳文『漢方医薬新聞』(265)3-4
- 「アレクサンダー・フォン・フンボルトと科学者の友人たち(1)」馬場英子『STETHOSCOPE』(163)12-17
- 「東北地方労働衛生史上の先覚者菅江真澄と荒谷忠兵衛(抄)」加美山茂利『産業衛生学雑誌』42(1)29
- 「アドレナリン発見100年の光と陰—高峰讓吉と上中啓三の

共同研究に学ぶ」菅野富夫『ミクロスコピア』17(2)98-105  
「福岡の先賢医師 35 福岡における武谷家と並ぶ医学者の家系、塚本家の業績について」奥村武『福岡県医報』(1283) 21-24

「土肥慶藏と初代大阪医学校皮膚科教諭桜根孝之進」長門谷洋治『北陸医史』21(1)57-65

「半井家起源についての一考察「半井小草紙」に出逢って(抄)」半井英江『日本医史学雑誌』46(3)312-313

「藤野玄洋—北と南の同名医師—」伊藤保蔵『北辰』(3)16-24

「丹波の種痘医・松本節斎とその門人たち(抄)」古西義麿『医譚』(75)31-32

「京都の漢方医達(曲直瀬道三・吉益東洞・和田東郭を中心に)(抄)」安井廣迪『漢方医薬新聞』(265)3

「台湾解剖学史—森於菟と金関丈夫両先生を中心に(抄)」哈鴻潜『日本医史学雑誌』46(3)307-309

「横井寛編「東京府内区郡分医師住所一覧」(明治一八年刊)に掲載された医師人名(抄)」樋口輝雄『日本医史学雑誌』46(3)370-371

## 42 伝染病史・防疫史

「泉熱の発見をめぐる」泉彪之助『医譚』(75)1-12

「時代と共に変わってきた地球上での感染症」岩崎惠美子『新潟県医師会報』(603)12-14

「〔中支ニ於ケル医療防疫調査書〕紹介—第二次大戦を準備し

て—(抄)」上野陽里『医学史研究』(77)37-40

「兵庫梅毒病院建設問題と英国公使館—開港場における検疫制度の導入と密淫売取締り(抄)」大川由美『日本医史学雑誌』46(3)372-373

「【手洗いを見直す】病院感染における手洗いの歴史と意義」桑原正雄、平岡徹郎『INFECTION CONTROL』9(4)332-337

「アテネの疫病はマールブルグ病、又は、エボラ熱か？」斉藤博『埼玉医科大学進学課程紀要』(8)15-25

「日中疫病史の中の「疫」と「瘟」(抄)」邵沛『日本医史学雑誌』46(3)440-441

「ペスト残影シリーズ10 ケルンに「ペスト残影」を求めてその2(抄)」滝上正『神奈川医学会雑誌』27(1)163

「ペスト残影シリーズ十 ケルンに「ペスト残影」を求めてその二(抄)」滝上正『日本医史学雑誌』46(2)270-271

「昭和四年及び七年・大阪府の防疫行政についての考察(抄)」田中祐尾『医譚』(76)41-42

「江戸時代の大腿骨の梅毒による慢性骨髓炎の1例(英文)(抄)」Tanihara Miho, Suzuki Takao, Matsumura Hir-ofumi, Kobayashi Hironori『Anthropological Science』108(1)115

「インフルエンザ 新時代のインフルエンザの臨床 インフルエンザ流行の歴史 変異する抗原」西村秀一『カレントセラピー』18(11)1966-1976

「中世日本人のらいの1例 (英文) (抄)」 Hirata K., Oku C., Morimoto I. 『Anthropological Science』 108(1)114

### 43 東洋医学史・伝統医学史

「〈口絵〉大塚敬節先生入門の日が判明する湯本求真翁の葉書  
『漢方の臨床』 47(4)456

「漢方史探訪 第46回 馬医絵巻」赤堀昭『協会会だより』  
(冬号)

「江戸時代古方派の系譜—奥田謙蔵の傷寒論 (抄)」秋葉哲生  
『漢方医薬新聞』 (265)9

「螟鍼について (抄)」上田善信『日本医史学雑誌』 46(3)360-361

「傷寒論雑病論 (傷寒論・金匱要略) について (抄)」江部洋  
一郎『漢方医薬新聞』 (265)9,11

「導引・行気と経脈論の接点」遠藤次郎、中村輝子『漢方の臨  
床』 47(9)1341-1350

「東西生薬考」大塚恭男『日本東洋医学雑誌』 50(5)741-766

「『芭窓方意解の補遺』」岡利幸『漢方の臨床』 47(9)1273-1277

「古今東西 開頭術史話 古代東洋の開頭医話」古和田正悦  
『プレインナーシング』 16(14)1626-1628

「咬咀の源を探る (抄)」郭秀梅、加藤久幸『日本医史学雑誌』  
46(3)444-445

「虚実諸論 (2) 古今虚実論争」勝野達郎『漢方の臨床』 47(2)  
235-270

「聯綿詞としての淋瀝・淋露」加藤久幸、郭秀梅『漢方の臨床』

47(1)143-148

「漢方薬のはなし 十全大補湯」小曾戸洋『漢方と鍼』 (98)5  
「傷寒論の来歴 (抄)」小曾戸洋『漢方医薬新聞』 (265)8-9

「中国医学源流への彷徨 二、外因 (六淫) について—陽邪  
(暑、熱、火) の変遷からみた火邪の疑問—」小高修司『漢  
方の臨床』 47(6)899-909

「中国医学源流への彷徨 (3) 気の流れを調整しているのは  
「肝」か「胆」か「膈」か」小高修司『漢方の臨床』 47(9)  
1351-1363

「『三陰交』の歴史 (抄)」木場由衣登『日本医史学雑誌』 46(3)  
418-419

「史記扁鵲倉公列伝 総論とイントロダクション」権藤寿昭  
『福岡医師漢方研究会会報』 21(6)6-13

「史記扁鵲倉公列伝 扁鵲 晉国&かく国での逸話」権藤寿  
昭『福岡医師漢方研究会会報』 21(7)14-23

「史記扁鵲倉公列伝 扁鵲 齋の桓侯の逸話・総括」権藤寿昭  
『福岡医師漢方研究会会報』 21(8)29-38

「史記扁鵲倉公列伝 倉公の紹介・罪状及び皇帝よりの恩赦の  
逸話」権藤寿昭『福岡医師漢方研究会会報』 21(9)53-59

「史記扁鵲倉公列伝 倉公の診療録 (Part 1-Part 3)」権藤寿  
昭『福岡医師漢方研究会会報』 21(10-12)12-21, 23-32, 9-16

「『伝屍病廿五方』の鍼灸 (抄)」篠原孝市、小曾戸洋『日本医  
史学雑誌』 46(3)352-353

「近代日本の対中医療・文化活動—同仁会研究 (二)—(四)」

- 丁蕾『日本医史学雑誌』46(1-2,4)23-45,193-209,613-639  
 「一貫堂医学の創造と発展—創方とその後—(抄)」中島泰三  
 『漢方医薬新聞』(265)6  
 「日本鍼灸小史 曲直瀬家医学書覚え書(その1)」長野仁『鍼灸 OSAKA』15(3)275-280  
 「千葉古方に於ける加味方(抄)」中村謙介『漢方医薬新聞』(265)6  
 「中国におけるテリアカの受容(抄)」中村輝子、遠藤次郎  
 『日本医史学雑誌』46(3)358-359  
 「『玉機微義』の鍼灸(抄)」北江龍也『日本医史学雑誌』46(3)384-385  
 「『医心方』にみる大豆について(抄)」槇佐知子『日本医史学雑誌』46(3)314-315  
 「目で見える漢方資料館(140) 多紀元簡賛「張仲景像」町泉寿郎『漢方の臨床』47(1)2-4  
 「目で見える漢方資料館(142) 和久田叔虎自筆稿本『読腹診奇覧』」町泉寿郎『漢方の臨床』47(3)326-328  
 「目で見える漢方資料館(143) 宇津木昆台の遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』47(5)633-635  
 「目で見える漢方資料館(144) 辻元崧庵の遺墨・墨著」町泉寿郎『漢方の臨床』47(6)762-764  
 「目で見える漢方資料館(145) 辻元崧庵の墓碑・遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』47(7)938-940  
 「目で見える漢方資料館(148) 片倉鶴陵の遺墨」町泉寿郎『漢

- 方の臨床』47(10)1402-1404  
 「目で見える漢方資料館(149) 尾台榕堂の書簡」町泉寿郎『漢方の臨床』47(11)1546-1548  
 「目で見える漢方資料館(150) 曲直瀬道三の遺墨」町泉寿郎『漢方の臨床』47(12)1706-1708  
 「〈経絡血管説〉再考(抄)」松木きか『日本医史学雑誌』46(3)398-399  
 「医史学より見た日中伝統医学の継承と発展—乖離の史的認識から相互理解へ—」真柳誠『漢方の臨床』47(8)1105-1124  
 「浅井正封書入本『扁倉伝割解』」宮川浩也『漢方の臨床』47(9)1258-1264  
 「目で見える漢方資料館(141) 古活字本『史記』扁鵲倉公列伝」宮川浩也『漢方の臨床』47(2)186-188  
 「目で見える漢方資料館(146) 穂積惟正『扁鵲伝註』」宮川浩也『漢方の臨床』47(8)1098-1100  
 「『外臺秘要方』の鍼灸—巻三十九「明堂」以外の掲載内容について(抄)」宮川隆弘『日本医史学雑誌』46(3)422-423  
 「医案を読む 清・魏之しゅう著『続名医類案』巻十・鬱症」牟田光一郎『中医臨床』21(2)180-182  
 「江戸時代の漢方医学の諸流派について」安井廣迪『名古屋医史談話会会報』(27)1-9  
 「資料でたどる日本鍼灸史 1 鍼の最も古い記録は允恭天皇か??」山本徳子『医道の日本』59(5)220-221  
 「資料でたどる日本鍼灸史 2 医博士の渡来と鍼灸書の伝

- 来」山本徳子『医道の日本』59(6)220-221  
 「資料でたどる日本鍼灸史 3 針治療を教えた虎??」山本徳子『医道の日本』59(7)212-213  
 「資料でたどる日本鍼灸史 4 鍼術の祖は紀河辺幾男鷹??」山本徳子『医道の日本』59(8)196-197  
 「資料でたどる日本鍼灸史 5 「医疾令」にみる鍼師・針博士」山本徳子『医道の日本』59(9)192-193  
 「資料でたどる日本鍼灸史 6 奈良朝～平安朝初期の針師・針博士」山本徳子『医道の日本』59(10)186-187  
 「資料でたどる日本鍼灸史 7 奈良朝～平安朝初期の針治療の扱い」山本徳子『医道の日本』59(11)164-165  
 「資料でたどる日本鍼灸史 8 三陰交は内踝上八寸?? 医心方」山本徳子『医道の日本』59(12)182-183  
 「鍼灸の起源を考える」吉田集而『全日本鍼灸学会雑誌』50(4)623-637  
 「中国伝統医学と道教(第二十一回)—「鎮宅靈符」(抄)」吉元昭治『日本医史学雑誌』46(3)366-367  
 「中国古代における予後診断(抄)」和田裕一『日本医史学雑誌』46(3)354-355

#### 44 内科史

- 「骨代謝研究の歴史 ビタミンD研究の歴史」井上勝、清野佳紀『Clinical Calcium』10(7)854-856  
 「虚血性心疾患治療における21世紀への課題 血管新生療法

- の歴史と今後の展望」内田康美、金井正仁、内田晴子、内田裕子、小川崇之『医学のあゆみ』192(1)128-133  
 「骨代謝研究の歴史 副甲状腺ホルモン研究の歴史」岡崎具樹『Clinical Calcium』10(8)989-992  
 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 本態性高血圧の成因をめぐる Page と Pickering」尾前照雄『血圧』7(7)779-781  
 「輸血の発展に大きな影響を与えた幾つかの事件(出来事)について ソビエト連邦における死体血輸血と米国における血液銀行の発展」遠山博『血液フロンティア』10(4)496-498  
 「高血圧研究の歴史 20世紀を振り返って 高血圧の認識: Riva-Rocci から ABPM」朽久保修『血圧』7(3)315-321

#### 45 皮膚科史

- 「Von Dem Grau Bis Zum Bunt ムラージュの歴史(5)」上野賢一『皮膚病の臨床』42(6)861-865  
 「歴史の中の皮膚疾患 「鯨海酔候」山内容堂の「鯨飲」による病と死」酒井シヅ(監修)『3°C PLUS ONE』7(1)19  
 「歴史の中の皮膚疾患 「太陽王」と皇太子を襲った皮膚疾患ルイ14世(1638-1715)」酒井シヅ(監修)『3°C PLUS ONE』7(2)19  
 「光線力学的療法・診断の皮膚疾患への応用」松本義也『皮膚病診療』22(3)235-239

## 47 病院学

「西信博「日本医師会館と巣鴨病院」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(49)37-39

「湊川病院 80 年のあゆみ (下)」『呉秀三先生記念精神科医療史資料通信』(別冊)

「病院医療 21 世紀への遺産 日本の病院 50 年の歩み」一条勝夫『病院』59(12)1030-1035

「病院医療 21 世紀への遺産 写真でみる 20 世紀の医療技術の進歩と病院」上林茂暢『病院』59(12)1036-1045

「シリーズ病院今昔物語 20 大分県立病院」高橋喬『Medical Tribune』33(2)18

「シリーズ病院今昔物語 21 国立高崎病院」高橋喬『Medical Tribune』33(6)10

「シリーズ病院今昔物語 22 公立小浜病院」高橋喬『Medical Tribune』33(10)9

「シリーズ病院今昔物語 23 国立熊本病院」高橋喬『Medical Tribune』33(15)24

「シリーズ病院今昔物語 24 町立三国病院」高橋喬『Medical Tribune』33(23)24

「京都における病院の発展史 (抄)」中橋彌光『日本医史学雑誌』46(3)299

「米国の病院における資金調達 の歴史と現状」松原由美『病院』59(11)965-970

「病院医療 21 世紀への遺産 資料 日本の病院の発展」吉田

幸雄『病院』59(12)1019-1028

## 48 病跡史

「ミューズの病跡学 ミシェル・フーコー、キース・ヘリングそしてロバート・メイプルソープ」早川智『産科と婦人科』67(12)1806-1809

## 49 病理学史

「回想 顕微鏡に導かれて 細胞病理学から化学結合論へ」妹尾左知丸『ミクロスコピア』17(2)84-91

「古病理学からみた日本の近世・近代 (抄)」谷畑美帆『日本医史学雑誌』46(3)406-407

「神経病理学誌 20 年の歴史 (英文)」Fujisawa Koshiro『NEUROPATHOLOGY』20(Suppl.)7

## 51 仏教医学史

「密教と医学／安膳那眼薬を中心に」佐藤任『アーユルヴェーダ研究』(30)30-37

「魔訶止観の医学 (抄)」杉田暉道『日本医史学雑誌』46(3)310-311

「ブッダの薬箱 薬用ジュース」中村知見『アーユルヴェーダ研究』(30)38-41

## 53 放射線医学史

- 「日本における放射線治療の発展と展望」阿部光幸『兵庫県立成人病センター紀要』15,1-5
- 「防衛衛生技術シリーズ No. 185-187 陸軍軍医学校における X 線導入初期の運用 わが国最古と考えられる臨床における X 線写真の発見—第1、2報、資料編—」木村益雄『防衛衛生』47(1-3)1-12, 1-12, 1-15
- 「X 線 CT の先駆「X 線による廻転撮影法の研究」について」佐久間貞行『現代医学』48(1)215-221
- 「胸部単純 X 線診断 Felson 以後 (抄)」林邦昭『日本医学放射線学会雑誌』60(10)302
- 「医学の 20 世紀 1. X 線の発見とその応用」原田尚『内科』85(1)158-160
- 「消化器疾患の IVR IVR の歴史と展望」古井滋『消化器の臨床』3(5)525-530
- 「日本の放射線機器戦後発展史 (後編)」牧野純夫『日本放射線技術学会雑誌』56(11)1287-1297

## 54 本草学史・博物史

- 「悠齋が山本榕室に贈った遣米使節齋来の植物」遠藤正治『悠齋研究会だより』(91)2-8
- 「オランダにおける江戸時代日本のタイムカプセル—シーボルト収集日本植物を中心として—」大森實『一滴』(5)38-60
- 「宇田川榕庵がシーボルトに贈ったアキタブキの拓本」高橋

輝和『津山洋学資料館友の会だより』(37)5

- 「近代医学黎明期の広島と浅野藩薬草園「日涉園」(抄)」原田康夫『日本医史学雑誌』46(3)324-325
- 「山本溪山著『入越日記』(五)—能登周遊採薬紀行(下)—」正橋剛二『医譚』(75)23-28
- 「山本溪山著『入越日記』(六)—越中立山採薬行・布勢円山探訪—」正橋剛二『啓迪』(18)20-30
- 「山本溪山著『入越日記』(七)—北陸路採薬紀行の終り—」正橋剛二『医譚』(76)23-36
- 「平林荘の想い出」増田郁子『悠齋研究会だより』(88)2-7

## 55 麻酔学史

- 「古典あれこれ 局所麻酔剤としてのコカイン小史」飯田収『JOHNS』16(8)1200-1205
- 「麻酔今昔」伊東祐輔『富山医科薬科大学医学会誌』13(11)1-5
- 「麻酔科学史の新研究 Anesthesiology 誌に最初に論文を執筆した日本人はだれか」松木明知『麻酔』49(7)806-812
- 「麻酔科学史の新研究 華岡青洲の「乳巖治験録」の新研究(上・下)」松木明知『麻酔』49(8-9)920-925, 1038-1043
- 「麻酔科学史の新研究 高嶺徳明の事績に関する諸家の見解」松木明知『麻酔』49(10)1169-1173
- 「麻酔科学史の新研究 高嶺徳明の業績に関する基本的史料の再検討」松木明知『麻酔』49(11)1285-1289
- 「新世紀にのぞみ麻酔今世紀の回想 国内名誉会員による」山

村秀夫、高橋長雄、岩月賢一、天野道之助、藤森貢、稲本晃、黒須吉夫、尾山力、三川宏、村上誠一、池田和之、森岡亨、宮崎正夫、小川秀道、奥秋晟『麻醉』49(増刊)67-72

## 56 門人録

「華岡家門人の大森家史料目録—三代目不明堂三楽・四代目三益・五代目六四郎の関係史料—」梶谷光弘『山陰史談』(29) 86-106

「北陸における蘭学の発達—蘭学塾生の門籍を中心に—」寺畑喜朔『北陸医史』21(1)1-16

「吉益家門人録の考察(抄)」町泉寿郎『日本医史学雑誌』46(3)322-323

## 57 薬学史

「幕末期院内銀山における薬種の仕入れと薬代等のシステム—「門屋養安日記」にみる庶民の医療(六)(抄)」蒔昭三『日本医史学雑誌』46(3)402-403

「スイス薬学歴史博物館の社会的意義について」飯田耕太郎『薬史学雑誌』35(2)253-256

「千葉薬学の歴史」岩城謙太郎、藤沢栄一『薬史学雑誌』35(2)94-95

「化学情報の歴史」Williams Robert V., Bowden Mary E., 時実象一『薬学図書館』45(2)129-148

「鬱金・ターメリック」内林政夫『薬史学雑誌』35(2)249-252

「Origin of Baozhu in China and the "Lantern Enjoyments" and Baozhu during the Sui and the Tang Dynasties」Noboru Okada『薬史学雑誌』35(2)227-239

「アメリカ・カナダおよびドイツ・オーストリア・スイスの薬博物館ガイドブック」奥田潤『薬史学雑誌』35(2)262-264

「新薬50年史2心疾患治療薬(強心薬、狭心症治療薬および抗不整脈薬)の開発と動向」小澤光、小澤輝高『薬史学雑誌』35(2)117-127

「アメリカ薬学の父、William Procter, Jr.」川村和美、奥田潤『薬史学雑誌』35(2)257-261

「気分安定薬の使い方 気分安定薬の概念と歴史」岸本朗、井上雄一『臨床精神薬理』3(9)831-837

「キノロン薬開発の歴史と評価」熊澤浄一『日本化学療法学会雑誌』48(12)883-891

「洋薬の流通とその変遷」古池達夫『薬史学雑誌』35(2)96-105

「防府市周防国分寺の薬師如来像の薬壺に内蔵されていた穀類種子の分析」佐藤洋一郎、椿坂恭代、吉崎昌一、奥田潤『薬史学雑誌』35(2)128-134

「薬歴の誕生から現代の薬剤師業務の変遷」佐谷圭一『薬史学雑誌』35(2)87-93

「医療保険における調剤報酬の歴史的変遷とその考察(1報)—健康保険法の成立と薬剤支給契約から調剤報酬の公定まで—」白神誠、亀井美和子、中村健『薬史学雑誌』35(2)

- 159-174  
「医療保険における調剤報酬の歴史的変遷とその考察(2報)  
—薬剤報酬の改定にみる行政施策の検証—」白神誠、亀井  
美和子、中村健『薬史学雑誌』35(2)175-194
- 「阿仙薬と孩児茶」杉山茂『薬史学雑誌』35(2)247-248
- 「黒色火薬について」杉山茂『薬史学雑誌』35(2)207-217
- 「中世日鮮交易における外郎(宋寿、常祐)の活躍」杉山茂  
『薬史学雑誌』35(2)195-201
- 「専門領域からのアドバイス 医薬分業について」中島英之  
『プライマリ・ケア』23(1)90-92
- 「生薬の小道 牡蠣(蛎) その1」中村實郎『STETHO-  
SCOPE』(163)4-9
- 「生薬の小道 鳥兜(附子) その3」中村實郎『STETHO-  
SCOPE』(160)18-22
- 「『和剤局方』「傷寒」篇の検討」中村輝子、川口直美、遠藤次  
郎『薬史学雑誌』35(2)218-223
- 「『和剤局方』における芳香性健胃薬の検討—西域の医学の影  
響について—」中村輝子、松崎亜衣子、遠藤次郎『薬史学  
雑誌』35(2)153-158
- 「20世紀の薬学—医療と薬剤師—日本薬学会120年会シンポ  
ジウム講演」二宮英『薬史学雑誌』35(2)106-113
- 「内藤記念くすり博物館平成11年度企画展『薬の神様・神農  
さんの贈り物～本草の世界をみつめる～』(抄)」野尻佳与  
子『医譚』(75)30-31
- 「新しい薬学の研究の流れの中で第2次大戦後50年の有機元  
素分析の足跡を考察する(第3報)」馬場芳子『薬史学雑  
誌』35(2)144-152
- 「A Historical Study of the Administration of Pharmaceuti-  
cal Affairs in Japan—In Relation to a Relaxation of  
Regulations—」Noriko Fukushima, Kayoko Matsumoto  
『薬史学雑誌』35(2)240-246
- 「売薬「竜虎丹」物語(抄)」藤戸孝純『医譚』(75)33-34
- 「Recognition of Schistosomiasis Japonica in the  
Katayama Area, Hiroshima Prefecture, before the Meiji  
Restoration, Especially That by the Herb Doctor, Yo-  
shinao Fujii (Research Note)」Maki Jun, Mikami Masa-  
hiro, Sakagami Hiroshi, Kuwada Masahiro『薬史学雑  
誌』35(2)114-116
- 「3巻本『本草集注』と出土史料」真柳誠『薬史学雑誌』35(2)  
135-143
- 「History of the School Pharmacist System in Japan」  
Noriko Miyamoto, Fumi Takahashi, Noriko Fukushima  
『薬史学雑誌』35(2)224-226
- 「昭和中期にみられた臨床化学関連研究会の変遷(その1)」  
山田光男『薬史学雑誌』35(2)202-206
- 「正倉院薬物が語ること(抄)」渡邊武『漢方医薬新聞』  
(265)4

## 58 蘭学史

「日葡辞書に見られる16世紀末の医学関連用語の考察」井田健『公立甲賀病院紀要』39-19

「幕末オランダ対日外交政策への一視点—『オランダ日本開国論』の手書き原稿から考察した—」小暮実徳『一滴』(8)65-84  
「黒船来航と蘭医たち」望月洋子『日本医史学雑誌』46(1)102-104

## 59 リハビリテーション関係史

「身体障害者リハビリテーションの歴史と今後」明石謙『川崎医学会誌』26(1)33-37

「【リハビリテーション医療の新たな試み】リハビリテーション医学の理念と実際 歴史に立ってこれからを考える」大川弥生、上田敏『月刊保団連』(643)30-37

「リハビリテーション医学のルーツを探る」千野直一『Journal of Clinical Rehabilitation』9(4)360-366

「中国小児推拿療法史略」李強『医道の日本』59(6)69-77

「Reibmayrのマッサージ術に関する一考察 我が国最初のマッサージ術の特徴」和久田哲司『日本温泉気候物理医学会雑誌』63(4)205-211

## 60 検査

「癌集団検診の役割を考える 日本における集団検診の歴史 わが国の癌集団検診の社会医学的展望—2~3の癌につい

て—」青木國雄『癌の臨床』46(1)3-12

「尿検査の変遷：予後、診断及び人体水分について（英文）」Bloom David A.『西日本泌尿器科』62(3)99-101

## 61 その他

「我が国における長寿研究の系譜（抄）」秋坂真央『日本医史学雑誌』46(3)434-435

「藩船「大野丸」使用の六分儀（抄）」岩治勇一『医譚』(75)35  
「運命の往診用くすり箱—盗難後、百五十年ぶりに発見」奥村武『福岡市ふくおか歴史散歩』685-686

「江戸時代の蘭方医塾—博多でも相次ぎ開く」奥村武『福岡市ふくおか歴史散歩』677-678

「九大医学部の「学士鍋」—卒業祝い、市中行進も」奥村武『福岡市ふくおか歴史散歩』6145-6146

「記憶のメカニズムの歴史的考察（抄）」鈴木衛『神奈川医学会雑誌』27(1)162-163

「記憶のメカニズムの歴史的考察（抄）」鈴木衛『日本医史学雑誌』46(2)269-270

「日本の履物の歴史」千葉剛次『靴の医学』14(1)38

「医学資料としての彩色図・カラー写真の歴史（抄）」長門谷洋治、寺畑喜朔、坂上俊之『日本医史学雑誌』46(3)410-411

## 62 中國語文獻

「百年医学回眸與展望」李經緯『中華医史雜誌』30(1)5-6

「與新中国一起誕生的医学雜誌—『新医学報』」甄橙、程之范  
『中華医史雜誌』30(1)7-8

「真朱與真珠的名称沿革與古今錯乱考」沈澍農『中華医史雜誌』30(1)9-13

「『神農本草經』藥物產地研究」王家葵、張瑞賢、孫曉波『中華医史雜誌』30(1)14-18

「『本草綱目拾遺』中金鎖銀開的考积」華青『中華医史雜誌』30(1)19-20

「『傷寒雜病論』对秦漢医藥學的繼承與發展」柯雪帆『中華医史雜誌』30(1)21-23

「略談『衛生寶鑑』中羅天益隨軍治案」龔純『中華医史雜誌』30(1)24-25

「論『千金方』对推拿學的貢獻」周運峰、李文濤、魏玉龍『中華医史雜誌』30(1)26-27

「陽痿病名與婦属及辨病演變考」秦国政『中華医史雜誌』30(1)28-31

「藏医学对腫瘤的認識」星全章『中華医史雜誌』30(1)32-34

「中外医学發展史比較」呂維柏『中華医史雜誌』30(1)35-39

「肺氣腫外科治療的歷史」楊帆、王俊『中華医史雜誌』30(1)40-43

「建国初毛澤東批轉的衛生工作文獻」高恩顯『中華医史雜誌』30(1)44-47

「医藥的起源」張慰豐『中華医史雜誌』30(1)48-51

「耿鑒庭先生生平」耿引循、劉暉、劉慕倫『中華医史雜誌』30(1)52-54

「讀李經緯教授『中国医学之輝煌』」鉄濤、劉小斌『中華医史雜誌』30(1)55-56

「『千金要方』中望藥後所下之物的婦產科診斷方法」姜丕政、張志斌『中華医史雜誌』30(1)6

「值得重視的学科—医学人類学」劉玉璋『中華医史雜誌』30(1)18

「廣東人間鼠疫流行與地震的關係(1867-1911)」李永宸、文  
『中華医史雜誌』30(1)25

「1949年張家口地区鼠疫防治工作」甄橙『中華医史雜誌』30(1)39

「『無灰酒』考源」劉榮喜、華海清『中華医史雜誌』30(1)43

「楊士瀛『仁齋直指方論』的調治氣血特点探析」劉德榮、黃玉良『中華医史雜誌』30(1)54

「杏林佳話」『中華医史雜誌』30(1)23

「聽診器的故事」『中華医史雜誌』30(1)47

「王応遴與『答朝鮮医問』」梁永宣『中華医史雜誌』30(2)69-72

「近代蕭山竹林寺女科伝承史略」蕭天水『中華医史雜誌』30(2)73-75

「昆山鄭氏婦科二十九代世医考」馬一平『中華医史雜誌』30(2)76-81

「眼鏡歷史的考証」黃蔭清『中華医史雜誌』30(2)82-86

- 「『目經大成』針撥術切口與現代内眼手術」吳烈『中華医史雜誌』30(2)87-89
- 「發現病毒簡史」張貞堯『中華医史雜誌』30(2)90-92
- 「白求恩漂泊的軍事之旅」C. Alex Alexander『中華医史雜誌』30(2)93-97
- 「中国近代第一位西医生—閔韜」劉澤生『中華医史雜誌』30(2)98-100
- 「20世紀初葉中国的節制生育」張丹紅、張蘇萌『中華医史雜誌』30(2)101-105
- 「苗族早期医藥活動特点初探」譚学林『中華医史雜誌』30(2)106-108
- 「中国古代量藥器探討」程磐基『中華医史雜誌』30(2)109-113
- 「王吉民医史論文目錄」周明忻『中華医史雜誌』30(2)114-117
- 「中医学理論体系建立的主要因素」王三虎『中華医史雜誌』30(2)118-119
- 「藥物化学家章育中先生」朱建平、劉菊福『中華医史雜誌』30(2)120
- 「關於整理中医傳染病学文献的思考」彭堅、韓剛『中華医史雜誌』30(2)121-123
- 「評『龍門藥方积疑』」伊広謙『中華医史雜誌』30(2)124-125
- 「最初有閔腦垂体的一些認識」甄橙『中華医史雜誌』30(2)75
- 「顱骨修補材料發展史」尹紹雅『中華医史雜誌』30(2)86
- 「20世紀前半葉西方医学期刊的数目」馬軍『中華医史雜誌』30(2)89
- 「古代摩頂眼科方」牛淑平『中華医史雜誌』30(2)97
- 「考古發現的中国古代開顱術証据」『中華医史雜誌』30(2)105
- 「發現血液循環」『中華医史雜誌』30(2)117
- 「越人入虢之診」『中華医史雜誌』30(2)123
- 「中国人痘接種術向西方的傳播及影響」謝蜀生、張大慶『中華医史雜誌』30(3)133-137
- 「我国整形外科溯源及其早年發展概況」孔繁祐『中華医史雜誌』30(3)138-141
- 「輸血史考」王兵、彭先導『中華医史雜誌』30(3)142-145
- 「氣管切開術簡史」秦湧『中華医史雜誌』30(3)146-147
- 「明清時期中国人对吸煙與健康關係的認識」杜勇『中華医史雜誌』30(3)148-150
- 「俗字研究在古医籍整理中的応用」范登脉、文『中華医史雜誌』30(3)151-154
- 「明代医家劉純生平初探」任雨笙、顧建河、龔純『中華医史雜誌』30(3)155-157
- 「新安名医吳昆家世考辨」張莉、姚素琴『中華医史雜誌』30(3)158-159
- 「藏医学家噶瑪俄頓丹增赤烈熱傑及其医著」本考『中華医史雜誌』30(3)160-161
- 「隋唐至宋代小兒咳喘文献概論」万芳、劉玉璋『中華医史雜誌』30(3)162-165
- 「金陵版『本草綱目』引『孟食療本草』出処討論」尚志鈞『中華医史雜誌』30(3)166-168

- 「陳修園『医学從衆錄』的學術成就探討」劉德榮『中華医史雜誌』30(3)169-171
- 「『金匱玉函要略方論疏義』研析」辺玉麟『中華医史雜誌』30(3)172-174
- 「宋以前『傷寒論』伝本及校勘整理研究」田思勝『中華医史雜誌』30(3)175-178
- 「汪昂與『医方集解』」曹美瑩『中華医史雜誌』30(3)179-181
- 「『天花仁術·序』中有関人痘接種術の新史料」楊小明『中華医史雜誌』30(3)182-183
- 「宋明理学宇宙觀对金元明中医人体的影響」欧陽建軍、朱文鋒『中華医史雜誌』30(3)184-186
- 「淺談馬王堆帛書『五十二病方』」姚純發『中華医史雜誌』30(3)187-188
- 「世紀回眸：現代生物技術革命與医学科学」李志平『中華医史雜誌』30(3)189-191
- 「評介『当代名老中医風采』」謝海洲『中華医史雜誌』30(3)192-封三
- 「18世紀法国主要外科学家」胡民『中華医史雜誌』30(3)137
- 「『温病条辨』水仙根皮炎和三黄二香散」孫啓明『中華医史雜誌』30(3)145
- 「關於『中藏經』中的乳癖」張志斌『中華医史雜誌』30(3)150
- 「鼻煙方考」劉艷驕『中華医史雜誌』30(3)154
- 「顧相学及其發明者」甄橙『中華医史雜誌』30(3)181
- 「20世紀上半葉收藏医学刊物最豐富的圖書館」馬軍『中華医

- 史雜誌』30(3)封三
- 「從「伏羲制九針」談起」『中華医史雜誌』30(3)174
- 「叩診法的誕生」『中華医史雜誌』30(3)181
- 「外科鼻祖華佗」『中華医史雜誌』30(4)246
- 「曹炳章藏孤本『本草明辨』考証」『中華医史雜誌』30(4)227
- 「顯微鏡的發明和応用」『中華医史雜誌』30(4)199
- 「『本草綱目』索引之學術意義」万芳『中華医史雜誌』30(4)251
- 「洛克菲勒集团與医学」馬軍『中華医史雜誌』30(4)236
- 「『医学白話』簡介」李曉英『中華医史雜誌』30(4)233
- 「第一個接種狂犬疫苗的人」郝清華『中華医史雜誌』30(4)218
- 「帛書「茜莢」別釋」孫啓明『中華医史雜誌』30(4)204
- 「評鉄濤主編的『中医近代史』」和中浚『中華医史雜誌』30(4)254-255
- 「謝海洲學術思想成就」姚乃礼、胡蔭奇、王承『中華医史雜誌』30(4)252-253
- 「概述西方古代解剖学」楊仕哲『中華医史雜誌』30(4)249-251
- 「疾病的歷史」研討会紀要」林富士『中華医史雜誌』30(4)247-248
- 「先秦社会時空方位觀对中医理論的影響」葆華、喬文彪、董海莉『中華医史雜誌』30(4)243-246
- 「胡慶余堂中藥博物館国藥文化史料」何鑫渠、王建華『中華医史雜誌』30(4)240-242
- 「論中医與藏医脉診的異同」甄艷『中華医史雜誌』30(4)237-239

- 「閩籍華僑與東南亞中藥業」朱碧春、杜建『中華医史雜誌』30(4)234-236
- 「20世紀30年代上海公共租界環境衛生治理概況」朱明『中華医史雜誌』30(4)231-233
- 「『統易簡方脉論』和『王氏易簡方』統考」劉時覺、陳克平、劉尚平『中華医史雜誌』30(4)197-199
- 「『新修本草』纂修人員考」王家葵、張瑞賢、銀海『中華医史雜誌』30(4)200-204
- 「近代衛生學家全紹清生平 and 早年成就」朱建平『中華医史雜誌』30(4)205-207
- 「新安名醫「張一帖」源流考」李梢『中華医史雜誌』30(4)208-210
- 「傷寒史學研究成果簡述」万曉剛『中華医史雜誌』30(4)211-214
- 「近代中醫兒科生理病理學說的進步」劉暉『中華医史雜誌』30(4)215-218
- 「子午流注與中国古代哲學」戴惠、白純『中華医史雜誌』30(4)219-221
- 「物性互滲意識與服石煉丹」王振瑞『中華医史雜誌』30(4)222-224
- 「武当道教醫藥發展史考略」徐丹生、王大軍、胡家全等『中華医史雜誌』30(4)225-227
- 「安徽省近代幾所教会醫院概述」陸翔、陸義芳『中華医史雜誌』30(4)228-230

## 64 歐文文獻

- ALVAREZ-MILLAN, Cristina: Practice versus Theory: Tenth-century Case Histories from the Islamic Middle East: *So. Hist. Med.*: 13(2)293-306
- ANDERSON, Richard G.: Benito Feijóo, Medical Disenchanter of Spain: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(1)67-79
- ASPIN, Richard: Who was Elizabeth Okeover?: *Medical History*: 44(4)531-540
- BACH, John R.: The Duchenne de Boulogne-Meryon Controversy and Pseudohypertrophic Muscular Dystrophy: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(2)158-178
- BENNETT, David: Medical Practice and Manuscripts in Byzantium: *So. Hist. Med.*: 13(2)279-291
- BERGER, Harald: Zu zwei Gelehrten des 14. Jahrhunderts: Burkhart von Reutlingen und Pilgrim von Preussen: *Sudhoffs Archiv*: 84(1)100-103
- BLACKWELL, Marilyn Schultz: Keeping the "Household Machine" Running: Attendant Nursing and Social Reform in the Progressive Era: *Bull. Hist. Med.*: 74(2)241-264
- BORSAY, Anne: An Example of Political Arithmetic: The Evaluation of Spa Therapy at the Georgian Bath Infirmary, 1742-1830: *Medical History*: 44(2)149-172
- BRASLOW, Joel T.: Therapeutics and the History of

- Psychiatry: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)794-802
- BURNHAM, John C.: Jack Pressman and the Future of the History of Psychiatry: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)778-785
- CHERRY, Steven: Hospital Saturday, Workplace Collections and Issues in Late Nineteenth-Century Hospital Funding: *Medical History*: 44(4)461-488
- CIRILLO, Vincent J.: Fever and Reform: The Typhoid Epidemic in the Spanish-American War: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(4)363-397
- COLE, Simon A.: From the Sexual Psychopath Statute to "Megan's Law": Psychiatric Knowledge in the Diagnosis, Treatment, and Adjudication of Sex Criminals in New Jersey, 1949-1999: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(3)292-314
- COOK, Harold J.: Boerhaave and the Flight from Reason in Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 74(2)221-240
- CRAWFORD, Catherine: Patients' Rights and the Law of Contract in Eighteenth-Century England: *So. Hist. Med.*: 13(3)381-409
- CROZIER, Ivan Dalley: Taking Prisoners: Havelock Ellis, Sigmund Freud, and the Construction of Homosexuality, 1897-1951: *So. Hist. Med.*: 13(3)447-466
- CROZIER, Ivan Dalley: Social Construction in a Cold Climate: A Response to David Harley, 'Rhetoric and the Social Construction of Sickness and Healing' and to Paolo Palladino's Comment on Harley: *So. Hist. Med.*: 13(3)535-546
- DINGWALL, Helen M.: 'To be Insert in the Mercury': Medical Practitioners and the Press in Eighteenth-Century Edinburgh: *So. Hist. Med.*: 13(1)23-44
- DIXON, Shirley: The Archive of the Queen's Nursing Institute in the Contemporary Medical Archives Centre: *Medical History*: 44(2)251-266
- DORN, Michael L.: (In)temperate Zones: Daniel Drake's Medico-moral Geographies of Urban Life in the Trans-Appalachian American West: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(3)256-291
- DUFFIN, Jacalyn: In Memoriam: Mirko Drazen Grmek, 9 January 1924-6 March 2000: *Bull. Hist. Med.*: 74(3)561-565
- DURBACH, Nadja: 'They Might As Well Brand Us': Working-Class Resistance to Compulsory Vaccination in Victorian England: *So. Hist. Med.*: 13(1)45-62
- DWYER, Ellen: Toward New Narratives of Twentieth-Century Medicine: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)786-793
- ECKERT, Edward A.: The Retreat of Plague from Central Europe, 1640-1720: A Geomedical Approach: *Bull. Hist. Med.*: 74(1)1-28

- ENGINEER, Amanda: Wellcome and the “The Great Past”: *Medical History*: 44(3)389-404
- FAIRMAN, Julie: Economically Practical and Critically Necessary? The Development of Intensive Care at Chestnut Hill Hospital: *Bull. Hist. Med.*: 74(1)80-106
- FEIERMAN, Steven: Explanation and Uncertainty in the Medical World of Ghaambo: *Bull. Hist. Med.*: 74(2)317-344
- FISCHER, Klaus-Dietrich: Dr. Monk’s Medical Digest: *So. Hist. Med.*: 13(2)239-251
- FORRESTER, John M: The Origins and Fate of James Currie’s Cold Water Treatment for Fever: *Medical History*: 44(1)57-74
- GEVITZ, Norman: “The Devil Hath Laughed at the Physicians”: Witchcraft and Medical Practice in Seventeenth-Century New England: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(1)5-36
- GOEHL, K./MAYER, J.G./STAUB, K.H.: Das Darmstädter Johannes-Alexandrinus-Fragment: *Sudhoffs Archiv*: 84(2)201-221
- GOEHL, K./MAYER, J.G.: Signa mortui foetus-Das tote Kind im Mutterleib. Ein neuer Text zur mittelalterlichen Gynäkologie: *Sudhoffs Archiv*: 84(2)232-235
- HARDY, Anne: “Straight Back to Barbarism”: Antityphoid Inoculation and the Great War, 1914: *Bull. Hist. Med.*: 74(2)265-290
- HAU, Michael: The Holistic Gaze in German Medicine, 1890-1930: *Bull. Hist. Med.*: 74(3)495-524
- HAYNES, Douglas M.: Framing Tropical Disease in London: Patrick Manson, *Filaria perstans*, and the Uganda Sleeping Sickness Epidemic, 1891-1902: *So. Hist. Med.*: 13(3)467-493
- HIGGS, Edward: Medical Statistics, Patronage and the State: The Development of the MRC Statistical Unit, 1911-1948: *Medical History*: 44(3)323-340
- HIRSHBEIN, Laura Davidow: “Normal” Old Age, Senility, and the American Geriatrics Society in the 1940s: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(4)337-362
- HIRST, J. David: A Medical “Dead End” Job? The Recruitment and Career Progression of the Edwardian School Medical Officer: *Medical History*: 44(4)443-460
- HOPWOOD, Nick: Producing Development: The Anatomy of Human Embryos and the Norms of Wilhelm His: *Bull. Hist. Med.*: 74(1)29-79
- HORDEN, Peregrine: The Millennium Bug: Health and Medicine around the Year 1000: *So. Hist. Med.*: 13(2)201-219
- HUGHES, Jonathan: The “Matchbox on a Muffin”: the

- Design of Hospitals in the Early NHS: *Medical History*: 44(1)21-56
- JONES, Margaret: The Ceylon Malaria Epidemic of 1934-35: A Case Study in Colonial Medicine: *So. Hist. Med.*: 13(1)87-109
- KING, S./WEAVER, A.: Lives in Many Hands: The Medical Landscape in Lancashire, 1700-1820: *Medical History*: 44(2)173-200
- KORNELL, Monique: Vesalius's Method of Articulating the Skeleton and a Drawing in the Collection of the Wellcome Library: *Medical History*: 44(1)97-110
- LAWLOR, C./SUZUKI, A.: The Disease of the Self: Representing Consumption, 1700-1830: *Bull. Hist. Med.*: 74(3)458-494
- LIENERT, Marina: Deutsche Psychiatrie im 20. Jahrhundert. Der Lebensweg des Psychiaters Johannes Suckow (1896-1994): *Sudhoffs Archiv*: 84(1)1-18
- LINDEN, David: The Perfect Physician: 16th Century Perspectives from the Iberian Peninsula: *Sudhoffs Archiv*: 84(2)222-231
- LINTON, Derek S.: Was Typhoid Inoculation Safe and Effective during World War I? Debates within German Military Medicine: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(2)101-133
- LINTON, Derek S.: The Obscure Object of Knowledge: German Military Medicine Confronts Gas Gangrene during World War I: *Bull. Hist. Med.*: 74(2)291-316
- LOCHER, Wolfgang: Die Medizingeschichte als akademisches Lehrfach an der Universität Bamberg: *Sudhoffs Archiv*: 84(1)50-62
- LOUGHLIN, Kelly: The History of Health and Medicine in Contemporary Britain: Reflections on the Role of Audio-Visual Sources: *So. Hist. Med.*: 13(1)131-145
- MA, Kan-Wen: Hare-Lip Surgery in the History of Traditional Chinese Medicine: *Medical History*: 44(4)489-512
- MARCUM, James A.: The Origin of the Dispute over the Discovery of Heparin: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(1)37-66
- MARKEL, Howard: "The Eyes Have It": Trachoma, the Perception of Disease, the United States Public Health Service, and the American Jewish Immigration Experience, 1897-1924: *Bull. Hist. Med.*: 74(3)525-560
- MARR, J.S./KIRACOFÉ, J.B.: Was the *Huey Cocoliztli* a Haemorrhagic Fever?: *Medical History*: 44(3)341-362
- MCINTOSH, Tania: "An Abortionist City": Maternal Mortality, Abortion and Birth Control in Sheffield, 1920-1940: *Medical History*: 44(1)75-96
- MEANEY, Audrey: The Practice of Medicine in England

- about the Year 1000: *So. Hist. Med.*: 13(2)221-237
- NAKAMURA, Ellen Gardner: Physicians and Famine in Japan: Takano Chōei in the 1830s: *So. Hist. Med.*: 13(3) 429-445
- NICHOLLS, Alice: Fenland Ague in the Nineteenth Century: *Medical History*: 44(4)513-530
- OCAÑA, Esteban Rodríguez: Social History of Medicine in Spain. Points of Departure and Directions for Research: *So. Hist. Med.*: 13(3)495-513
- OGAWA, Mariko: Uneasy Bedfellows: Science and Politics in the Refutation of Koch's Bacterial Theory of Cholera: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)671-707
- PERRY, Mark: Academic General Practice in Manchester under the Early National Health Service: A Failed Experiment in Social Medicine: *So. Hist. Med.*: 13(1) 111-129
- PILSWORTH, Clare: Medicine and Hagiography in Italy c.800-c.1000: *So. Hist. Med.*: 13(2)253-264
- POHL, Lynn Marie: Long Waits, Small Spaces, and Compassionate Care: Memories of Race and Medicine in a Mid-Twentieth-Century Southern Community: *Bull. Hist. Med.*: 74(1)107-137
- PRESCOTT, Heather Munro: The White Plague Goes to College: Tuberculosis Prevention Programs in Colleges and Universities, 1920-1960: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)735-772
- ROOS, Anna Marie: Luminaries in Medicine: Richard Mead, James Gibbs, and Solar and Lunar Effects on the Human Body in Early Modern England: *Bull. Hist. Med.*: 74(3)433-457
- RUSHTON, Alan R.: Nettleship, Pearson, and Bateson: The Biometric-Mendelian Debate in a Medical Context: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(2)134-157
- RUSSELL BRAIN, W: Encounters with Winston Churchill: *Medical History*: 44(1)3-20
- SAVAGE-SMITH, Emilie: The Practice of Surgery in Islamic Lands: Myth and Reality: *So. Hist. Med.*: 13(2) 307-321
- SAVITT, Todd L.: Four African-American Proprietary Medical Colleges: 1888-1923: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(3)203-255
- SCHNEPPEN, Heinz: Die Anfänge des Ocean Road Hospital in Daressalam: vom Missionshospital zum Gouvernements-Krankenhaus: *Sudhoffs Archiv*: 84(1) 63-88
- SHEARD, Sally: Profit is a Dirty Word: The Development of Public Baths and Wash-houses in Britain 1847-1915: *So. Hist. Med.*: 13(1)63-85

- SHVARTS, Shifra A.: The Development of Mother and Infant Welfare Centers in Israel, 1854-1954: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(4)398-425
- SKÖLD, Peter: The Key to Success: The Role of Local Government in the Organization of Smallpox Vaccination in Sweden: *Medical History*: 44(2)201-226
- STOKES, Patricia R.: Pathology, Danger, and Power: Women's and Physicians' Views of Pregnancy and Childbirth in Weimar Germany: *So. Hist. Med.*: 13(3)359-380
- STOLBERG, Michael: An Unmanly Vice: Self-Pollution, Anxiety, and the Body in the Eighteenth Century: *So. Hist. Med.*: 13(1)1-21
- STOLBERG, Michael: The Monthly Malady: A History of Premenstrual Suffering: *Medical History*: 44(3)301-322
- SZCZYGIEL, B./HEWITT, R.: Nineteenth-Century Medical Landscapes: John H. Rauch, Frederick Law Olmsted, and the Search for Salubrity: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)708-734
- TEIGEN, Philip M.: In Memoriam: Richard J. Durling: *J. Hist. Med. Allied Sci.*: 55(2)179-181
- TOMES, Nancy: Beyond the "Two Psychiatries": Jack Pressman's Last Resort and the History of Twentieth-Century American Psychiatry Introduction: *Bull. Hist. Med.*: 74(4)773-777
- TWEEDALE, Geoffrey: Sources in the History of Occupational Health: The Turner & Newall Archive: *So. Hist. Med.*: 13(3)515-533
- VAUGHAN, Megan: Slavery, Smallpox, and Revolution: 1792 in Ile de France (Mauritius): *So. Hist. Med.*: 13(3)411-428
- WAGNER, A./SPREE, R.: Die finanzielle Entwicklung des Allgemeinen Krankenhauses zu München 1830-1894: *Sudhoffs Archiv*: 84(2)129-165
- WALDRON, H.A.: The Study of the Human Remains from Nubia: The Contribution of Grafton Elliot Smith and His Colleagues to Palaeopathology: *Medical History*: 44(3)363-388
- WALLIS, Faith: Signs and Senses: Diagnosis and Prognosis in Early Medieval Pulse and Urine Texts: *So. Hist. Med.*: 13(2)265-278
- WATTS, Susan: Dracunculiasis in the Caribbean and South America: A Contribution to the History of Dracunculiasis Eradication: *Medical History*: 44(2)227-250